間接工事費等諸経費動向調査
（令和7年度）

③下請者用入力マニュアル

Ver25.01

調査票提出先及び提出期限

1）下請担当者　→　元請担当者

2）元請担当者　→　発注事務所等担当者
（**工事引き渡し日までに**発注事務所等担当者へ提出及び
調査票配布サイト（RepoBox）よりアップロードにて提出）

3）発注事務所等担当者
（**工事完了日から30日以内に**調査票配布サイト（RepoBox）
よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和8年3月
30日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務
所等で保管し、後日、提出となる予定です。）

注）繰越等により令和7年度中に完了しなかった工事についても、調査は継続となりますので、
本調査票（令和7年度）により提出してください。
10年間工期があったとしてもすべての期間に発生した内容の記載をお願い致します。

注）基本的には、下請用調査票（⑥下請.xlsx）に電子入力してください。
電子入力が不可能な場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らすことや、他の目的に使用することは決してありませんので、**事実をありのままに記入していただくようお願いいたします。**

再下請の調査票から入力する「下請」関係のシートは、事実をありのままに記入してください。

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求めることがありますので、ご協力のほどお願いいたします。

また、**調査票は令和9年3月末頃迄保管していただくよう**お願いいたします。

＜調査の目的及び対象工事の選定理由・対象工事からの除外や提出時期に関する問合せ先＞
元請会社または依頼された会社に問合せてください。

＜調査票入力に関する問合せ先＞
一般財団法人　国土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001
東京都港区虎ノ門3－12－1（ニッセイ虎ノ門ビル9階）
TEL　03-4519-5004

※問合せは、平日（祝日を除く月曜日～金曜日）の午前10時00分から12時、午後1時から
午後5時の間にお願いします。（諸事情により問合せ窓口を一時休止する場合があります。）

国　土　交　通　省

目　　次

		ページ
1	諸経費動向調査Q＆A	1
2	調査の目的	2
3	調査票の配布及び入力後の提出フロー	2
4	各担当者別の作業手順	3
5	配布物及び提出物	4
6	調査票の入力	5
7	調査票使用上の注意	6
8	入力時の注意事項	7
9	入力上の用語及び費用の取り扱いについて	8
10	入力方法及び入力項目の内容	9
	開始画面	9
	記入シート確認	9
	1_一般事項	11
	1-2_下請入力	11
	2-1_社員等従業員給料等_自社分	12
	2-2_社員等従業員給料等_再下請分	15
	3_法定福利費	16
	4_労務管理費	25
	5-1_機器材運搬費	27
	5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ	30
	6_準備・測量	35
	7_技術管理費	39
	8_現場環境改善費	44
	15_ICT	47
	★工事費	48

1 諸経費動向調査Q＆A

以下のQ＆Aのほか、各シート、その他質問に関しては、別途の「令和7年度間接工事費等諸経費Q＆A_下請者.pdf」を参照してください。

Q1　調査票への入力に際してパスワードを要求される場合には？

→A：パスワードが要求される個所は、入力の必要がない個所です。

入力対象は、薄黄色のセルのみです。薄緑色のセルは数式等が入っているため、自動入力です。

Q2　『6_法定福利費』『A. 労災保険料』『2.事業の種類』でプルダウン中に該当する項目 がない場合は？

→A：『その他の建設業』を選択し、確認メッセージが表示される理由を『10.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』に保険料率を入力してください。

例えば、「保険料率を〇〇‰で算出している為」等。

Q3　エラー『#REF!』の表示が出た場合には？

→A： Excelのエラー『#REF!』の表示の場合は、入力作業の段階で調査票が破損したことが考えられます。本マニュアル表紙の＜調査票入力に関する問合せ先＞へご連絡下さい。

Q4　エラー（『#N/A』、『VALUE！』）等の表示が出た場合には？

→A ：Excelのエラー（『#N/A』、『VALUE！』）の表示の場合は、数値入力セルに文字入力等の誤入力が考えられます再度入力セルの確認をお願いします。

Q5　法定福利費の算出方法が不明の場合には？

→A　調査対象工事に従事した社員等従業員および労働者の事業主負担分を**調査対象工事に応じて按分計上してください**。

Q6　初めてで何を、どのシートを入力すればいいのか不明な場合は？

→A ：下請調査票内にあります「記入シート確認」シートにてどのシートを記入すべきかの確認が可能です。

Q7　機械損料とは？

→A　損料の考え方

1日当りの損料＝

（機械・製品の購入価格　＋　維持修理費等）÷　使用年数　÷　年間運転日数

Q8　土木工事に含まれない、工事（調査業務・設計業務・測量業務・建築工事等）だと連絡が来た？

→A 「工事費」シートの⑦別途調査等工事価格の欄に入力してください。発注者側で積算計上されているものを計上してください。不明の場合は、元請会社または依頼された会社に確認してください。

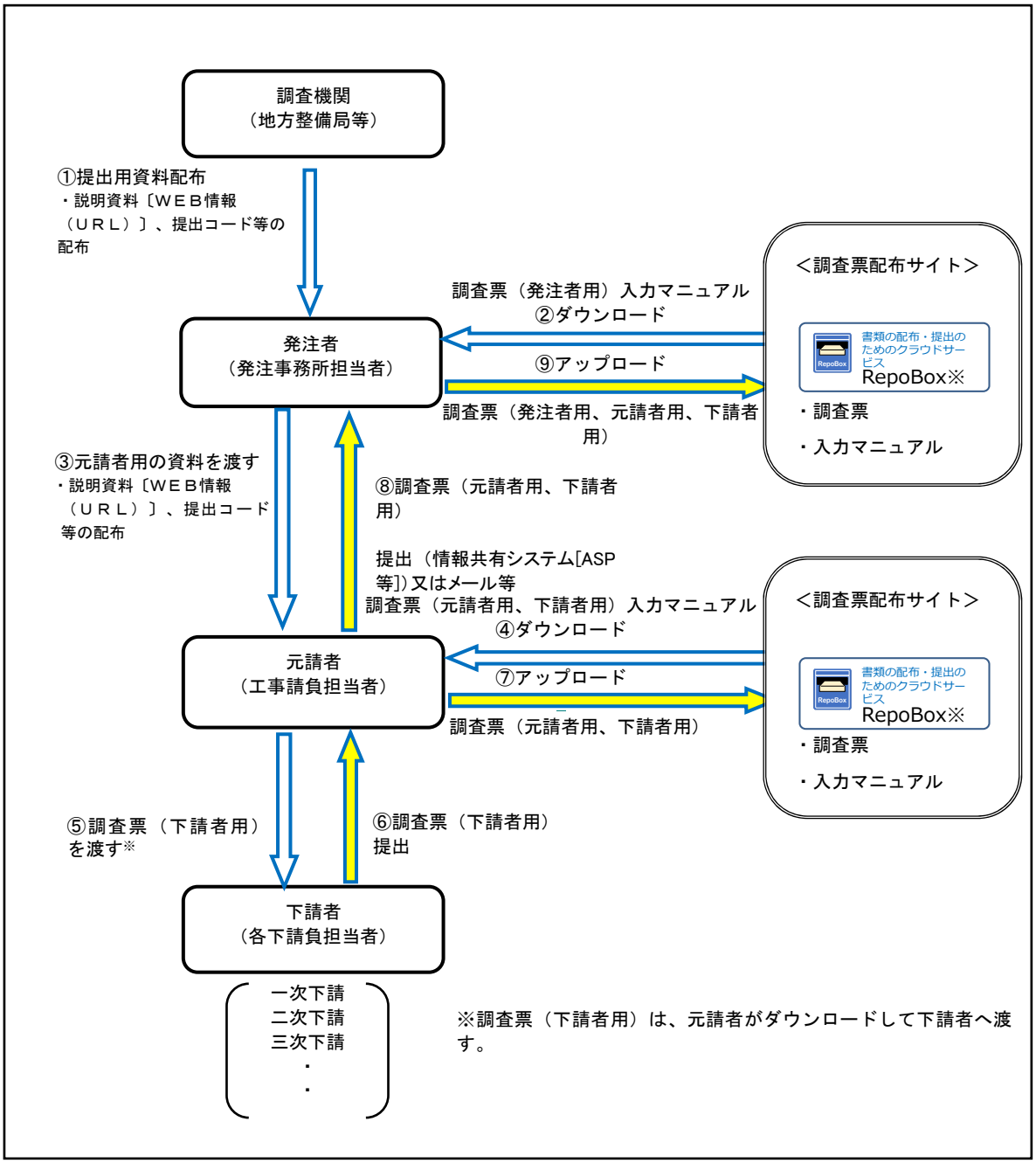
Q9　工期が5年間あるので1年分の入力でも良いのか？

→A　　工事ごとの調査の為、5年分（工期の最初から最後まで）の入力をお願いいたします。

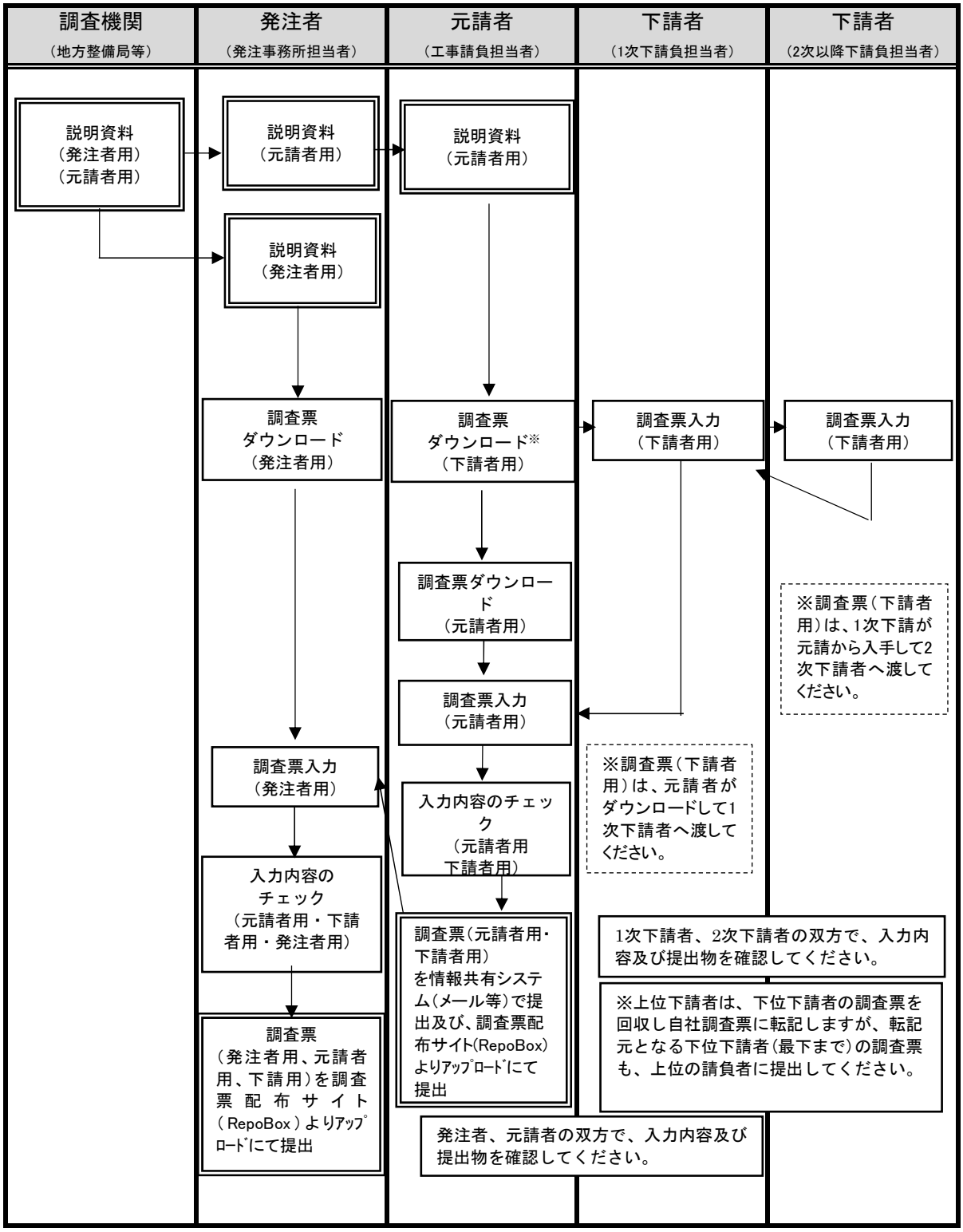
2 調査の目的

本調査は、公共事業を取り巻く社会環境や施工形態等の変化に対して、迅速かつ的確に対応し、適正な積算・契約に資することを目的とするものであり、調査結果は今後の積算基準の改定に係わる重要な基礎資料となります。

3 調査票の配布及び入力後の提出フロー



4 各担当者別の作業手順



5 配布物及び提出物

- 下請者用調査票（⑥下請.xlsx）に電子入力してください。
  電子入力が不可能な場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。
- 再下請者がある場合、再下請者に下請者用調査票（⑥下請.xlsx）を配布してください。
- **再下請者から下請者用調査票（⑥下請.xlsx）を回収した後、自社分の調査票に再下請者の入力内容を転記する必要があります。**（再下請者への外注分を記入します）

例1）下請者が二次下請までの場合（二次から三次への外注が無い場合）

①一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

例2）下請者が三次下請におよぶ場合（二次から三次へ外注がある場合）

①二次下請者は、回収した三次下請者の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）してください。（三次下請者への外注費分を記入することとなります。）

②一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』を自社の『下請者用調査票（⑥下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

注1）再下請者に調査を依頼する際、再々下請者以降に請負わせた外注費についても、各費目に分けて調査するようあらかじめ依頼しておいてください。

注2）詳細な仕分けが困難な場合は、各費目の一括合計を入力してください。

注3）元請者の指導、助成により、三次下請者以降の実態を調査してください。

- 下請者用調査票の入力及び提出は「建設工事の請負契約」における全ての下請負人が対象となります。下請者が無い場合は提出不要です。測量（基準杭調査）や、コンクリート及びその他試験（溶接、鉄筋の圧接等の探傷試験類）の業者は作成不要です。準備費や、技術管理費に金額を含んで計上してください。）警備会社も対象となります。
- 少額（10万円未満）、少日数（5日以下）の再下請業者様で算出が困難な場合は自社に含めて計上しても問題ありません。

元請者より提供されるもの

			ファイル名
調査票（下請者用）			
	入力マニュアル	下請者用入力マニュアル	③下請者用入力マニュアル.pdf
		下請者用Q＆Aマニュアル	Q＆A_下請.pdf
	調査票	下請者用調査票	⑥下請.xlsx

入力後提出するもの

			ファイル名
	調査票	下請者用調査票	⑥下請.xlsx

6 調査票の入力

凡例 ← :データ転記

発注者	元請者	下請者 （一次下請）	下請者 （二次下請以降）
【④発注.xlsx】	【⑤元請.xlsx】	【⑥下請.xlsx】	【⑥下請.xlsx】
開始画面	開始画面	開始画面	開始画面
1_工事情報		記入シート確認	記入シート確認
2_一般事項 ～ 確認	1_一般事項	1_一般事項	1_一般事項
	1-2_下請入力 ←	1-2_下請入力 ←	1-2_下請入力
	2_工期		
	3_施工分散		
	4_社員等従業員給料等_元請 ～ 11_現場環境改善費_元請		
	12_快適トイレ ～ ★工事費 ←	2-1_社員等従業員給料等_自社分 ～ ★工事費 ←	2-1_社員等従業員給料等_自社分 ～ ★工事費
	31-1_工期延長受注1 ～ 31-2_工期延長受注2		
	確認		
元請調査票データ ←	まとめ		
チェック			

7 調査票使用上の注意

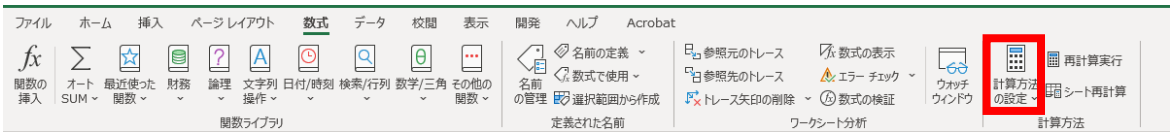
・調査票の事前準備
パソコンのハードディスク等に**元請**から提供されたファイルを入れ、使用してください。
作成するフォルダの場所及びフォルダ名は任意で構いません。

・計算方法
調査票を操作する前に、以下の自動計算の設定を必ず行ってください。
※使用するExcelのバージョンにより、設定方法が違います。

「自動計算」の設定

「Excelのタブ」内の「数式」を選択後、リボンの右側にある「計算方法の設定」をクリックして『自動』を選択してください。

調査票は関数によって集計処理を行っております。よって、集計処理が正しく反映されるためにEXCELのファイルを開いた際に数式タブから「計算方法の設定（下記赤枠参照）」を選択、計算方法を自動になっているか確認して下さい。



・エクセルの操作

画面の表示が一部分のみで見にくい場合は、ウィンドウ枠の固定を解除してください。対象のシートに移り[Alt][W][F][F]のキーを順番に押してください。

メモ(セルのコメント)を非表示にしたい場合は、対象のシートに移り[Alt][R][T][S]のキーを順番に押してください。

8 入力時の注意事項

最終実績金額について入力してください。

調査票に調査情報を入力する際は、下表の注意事項に注意して入力してください。

項　目		注意事項
入力欄	入力箇所	調査情報を入力、または選択する入力欄は**『黄色』**で着色しています。 調査情報の入力、または選択をしてください。 調査情報を選択する入力欄では、右端にプルダウン（▼）が表示されます。プルダウン（▼）をクリックすると選択するリストが表示されますので、該当する内容を選択してください。
	入力不要箇所	調査情報の入力不要の欄は**『緑色』**で着色しています。 この欄の値は、入力した値の合計が自動的に算出されたもの、または他の入力シートで入力した値が表示されます。
入力調査情報	金　額	**『最終実績金額』を入力**してください。 自社が施工に要した金額です。 **注）下請者の外注費は、再下請者が施工に要した費用です。** **『千円単位』で入力**してください。「千円未満」は四捨五入してください。 『消費税抜き』の金額で入力してください。 **該当する費目が無い場合や500円未満の時は、『 0 』を入力**してください。
	数　値	『整数』で入力してください。 小数点以下は四捨五入してください。 （一部の入力欄は、小数点以下を含めた数値で入力できる場合があります。）
	自由回答 （文　字）	入力欄の関係上、入力された文字（内容）が入力欄からはみ出たり、文字が切れて見えなくなる場合があります。 その場合でも、入力された文字（内容）は有効ですので、そのまま入力してください。
警告表示	必須入力	必須の入力欄は『※』が表示されています。 『※』が残らないように入力してください。
	エラー	**入力内容に不備がある場合は『 E 』が表示されます。** また、入力箇所により『エラーのメッセージ』が表示されます。 エラーが表示された場合は、適切な内容を入力、もしくは選択をしてください。

※本マニュアルの画像はイメージです。実際のデータとは一部異なる場合がございます。

9 入力上の用語及び費用の取り扱いについて

調査票に調査情報を入力する際は、下表の用語及び費用の取り扱いに注意して入力してください。

用　語	従事内容	賃金を入力する項目
労働者	労働者とは、直接、肉体的もしくは技能的労働を伴って工事施工に従事する者をいいます。 この場合の賃金は、一般に日給、月給、出来高給、請取り給のいずれかによって支払われます。 **例）普通作業員、世話役、重機オペレーター、鉄筋工、とび工、石工、配管工、大工、左官、電工等**	直接工事に従事した労働者 **→直接工事費『労務費』** 共通仮設工事に従事した労働者 **→共通仮設費『運搬費』、『準備費』、『安全費』等の該当する項目**
社員等従業員	社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。 **注）社員等従業員であっても、直接工事の施工に従事した場合は『労働者』とし、除きます。**	現場管理費 **『社員等従業員給料手当』**
社員	元請者、あるいは下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制が多くなります。 例）元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術職員等 下請：主任技術者、現場管理を行う技術職員等	
社員以外の従業員	元請者、あるいは下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。 雇用は必要な期間だけであり、この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制もしくは日給制です。 **例）夜警員、倉庫番、食事係 、連絡車運転手、事務員等**	
交通誘導警備員	直接工事費「労務費等（交通誘導警備員等）」 交通誘導、機械の誘導等の交通管理業務に従事する者。 **例）交通誘導警備員A、交通誘導警備員B**	**直接工事費『労務費等』** ※巡視・保安の場合は共通仮設費**『安全費』**
技能関係等従事者	測量、地質及び試験等の技能業務に従事する者。 **例）測量技師、試験員等**	共通仮設費 **『準備費』、『技術管理費』**

注1）『労働者』と『社員等従業員』は、業務内容により区別してください。

雇用上の『正社員』と『非正社員』の区別ではありません。

雇用上の『正社員』であっても、普通作業員、重機オペレーター等として従事した場合は、『労働者』としてください。

注2）工事の準備の測量等に要した費用（測定者等の賃金含む）は、『準備費』に計上してください。

品質管理及び出来形管理に要した費用（測定者等の賃金含む）は、『技術管理費』に計上してください。

ただし、これらの業務を社員等従業員が直接実施した場合の賃金（労務費）は、「現場管理費」の『社員等従業員給料手当』に含むものとし、これらの業務に要した賃金（労務費）として計上しないでください。

注3）事業主が労働者に要した費用のうち、賃金（労務費）以外の経費は、『現場管理費』の『労務管理費』及び『法定福利費』に計上してください。

10 入力方法及び入力項目の内容

調査票の入力方法及び各入力シートの入力項目の内容について説明します。

「開始画面」シート

入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。

”整理番号”を記入してください。不明な場合は依頼された会社に確認してください。

他者からの意見等により事実と相違する内容を記載することになった場合は、その事に関する”具体的な内容”をご記入ください。

「記入シート確認」シート

入力が必要なシートの確認が行えます。

記入経験のある方で記入箇所をご存じの方は1_一般事項から順次入力を進めてください。（このシートは未入力でもよろしいです。）

貴社は調査票の作成対象外ですと表示された企業様は元請者（または貴社に工事・業務を依頼された企業様）に金額を含んで計上して頂くようお伝えください

回答欄のプルダウンから「はい」または「いいえ」を選んでください。右側に入力が必要なシートが表示されます。

・入力項目（記入シート確認シート）

質問内容	内容
貴社は建設業（土木・電気工事を含む）の企業様ですか	建設工事を請け負ってた会社ですか。 （建設業許可についての質問ではありません。無許可も含みます。）
貴社は警備業の企業様ですか	交通誘導警備を請け負った会社ですか。
貴社は現場で工事（作業）も担当した建設機械の企業様ですか	オペ付きクレーン、オペ付きコンクリートポンプ車等請け負った会社ですか。（建設機械のリースのみの場合は除きます。） 運転手付きの土砂運搬も含みます。（生コン運搬等の材料搬入の会社は除きます。）
貴社は土木コンサル業の企業様ですか	建設コンサルタント（調査・設計・施工管理等）を請け負った会社ですか。
貴社は（測量・地質等）調査業の企業様ですか	調査業務（測量・地質等）や試験業務を請け負った会社ですか。

今回の工事で再下請業者（協力企業）はいらっしゃいましたか？	建設工事や交通誘導警備等を依頼した会社は有りましたか。
今回の工事で直接作業に従事しない現場管理者の方はいらっしゃいましたか、または直接作業と現場管理を兼任されている現場管理者はいらっしゃいましたか	現場に駐在し、施工管理、品質管理、元請会社との打合せ、現場労働者の管理等に従事した現場管理従事者（一般的な用語では「現場監督」です。）がいましたか。また、作業をした方（一般的な用語では、「職人」です。）で、現場管理を兼任された方はいましたか。
今回の工事で機材・仮設材の運搬はありましたか	仮設材、敷鉄板等の運搬をしましたか。

重機の運搬はありましたか	重機の運搬はありましたか。（自走、貨物輸送、現場内等）
今回の工事で、工事の開始のための準備作業（測量・調査・木々の伐採等）はありましたか	工事の開始のための準備作業としての測量・調査・木々の伐採等はありましたか。完成時の後片付、施工期間中における準備・後片付も含みます。
今回の工事で、品質管理費や各種調査費、ICT機械の使用費はありましたか	品質管理のための試験等に要する費用、出来形管理のための測量等に要する費用、工程管理のための資料の作成等に要する費用、その他技術管理上必要な資料の作成に要する費用が発生しましたか。
今回の工事で、現場環境改善費はありましたか	周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動，現場労働者の作業環境の改善費用が発生しましたか。
今回の工事で、ICTに係る費用はありましたか	例えば、ドローン等による3次元測量、コンピュータ搭載建機による施工、3次元データをパソコンで確認等。このような施工による費用がありましたか。

「1_一般事項」シート

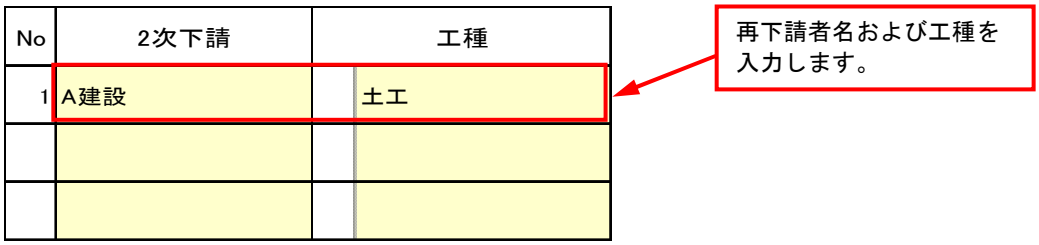
・入力項目（1_一般事項シート）

項　目	内　容
管轄省庁	調査対象工事の発注機関の名称が表示されています。
下請次数	元請者から見た貴社の下請次数をプルダウンより選択してください（1次下請、2次下請等）。
入力担当者氏名	入力担当者の氏名を入力してください。
役職名	入力担当者の役職名を入力してください。
会社名	入力担当者の会社名を入力してください。
電話番号	入力担当者の電話番号を入力してください。
◯次下請会社数	◯部分は下請次数で選択した内容で変化します。 会社数は「1-2_下請入力」シートで入力した再下請会社数が自動で反映されます。

「1-2_下請入力」シート

再下請者名及び工種（工事内容）を入力してください。
注1）再下請者がある場合のみ、入力してください。
注2）再下請者が無い場合は、入力不要です。
同様に、他のシートの**再下請用部分**の入力も不要です。

・入力操作方法（1-2_下請入力）



※再下請負社は最大50社まで入力可能です。50社以上に達する場合は50社目の欄に「他◯社」と記入してください。以降のシートについても残りの会社分は合算して記入してください。

「2-1_社員等従業員給料等_自社分」シート　下請者の社員等従業員給料等内訳

現場管理費中の社員等従業員給料等内訳について入力します。

自社における社員等従業員（下表参照）について入力してください。

社員等従業員		社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。 **注）直接工事の施工に従事した『労働者』は除きます。**
	社員	下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。
	社員以外の従業員	下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。

注1）雇用上の正社員であっても、直接作業に従事する者は『労務費』に計上してください。

注2）自社において、現場管理者的業務（現場に駐在して、現場労働者の管理（帳付け）、あるいは元請会社社員との打合せ、品質管理、施工管理等の業務）**に従事した者について入力してください。**

注3）鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）に含まれる社員等従業員給料手当は、計上しないでください。

注4）自社及び再下請者において、『現場管理者的業務に従事した者』に該当する者がいない場合は、入力する必要はありません。

注5）建設業法上、主任技術者の専任を義務付けられる場合は、専任を要する全期間について計上してください。

注6）現場管理者的業務と労働者的業務を兼務している場合は、その従事した割合で按分してください。

注7）再下請者がある場合は、再下請者から回収された下請者用調査票の『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シートの赤枠部分（総合計列）を**『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』**に転記してください。

同時に、再下請者における社員等従業員が、適正に記入されていることを確認してください。

注8）自社の現場管理者が50人以上の場合は、50人目の入力欄に他◯人と纏めて入力してください。

注9）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

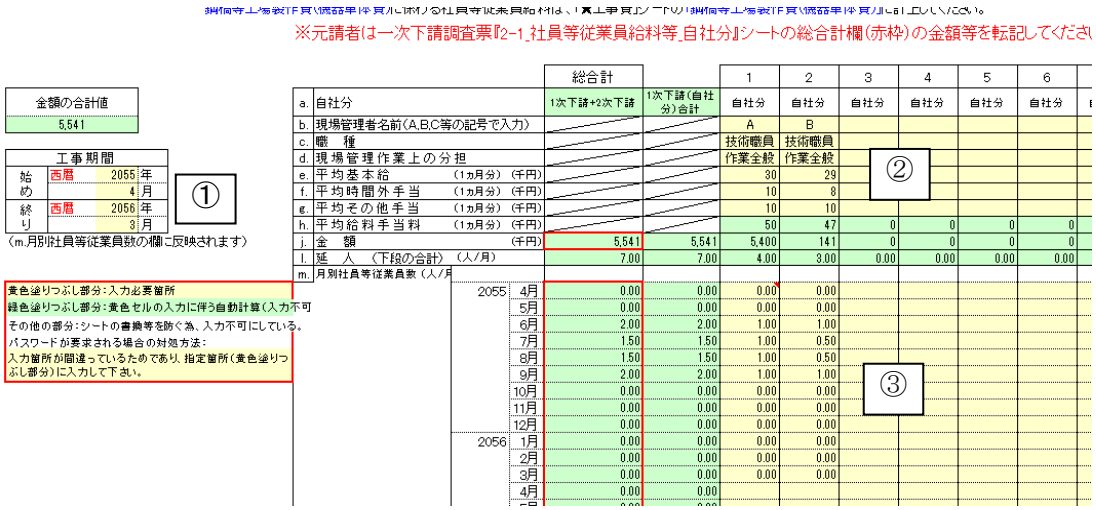
・入力項目（2-1_社員等従業員給料等_自社分シート）

項　目	内　容
工 事 期 間	工事期間の始めと終りを入力してください。（m.月別社員等従業員数の欄に反映されます）
a.自社分	自社分と表示されます。
b.現場管理者名前	現場管理者の名前をA、B、C等の記号で入力してください。 **注）個人名は記載しないでください。**
c.職　種	『技術職員』(現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等)、『事務職員』、または『その他』(夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手等)のいずれかをプルダウンリストから選択してください。
d.現場管理作業上の分担	現場で作業分担がおこなわれている場合の分担区分（作業全般、測量係、写真係、品質係、出来形係、労務係等）を入力してください。 工事の進捗に伴って、変更があった場合には、代表的な分担を2～3例入力してください。 名称は、一般的な呼び名で構いません。 分担が無い場合には、『作業全般』としてください。
e.平均基本給	本人の1ヶ月当りの基本給を入力してください。 昇給があり、基本給が変わった場合は、平均をとってください。 日給月給の場合は、調査対象工事期間中の平均給与を入力してください。
f.平均時間外手当	本人の1ヶ月当りの平均時間外手当（深夜勤務割増手当を含む）を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は、対象工事に従事した期間の平均とします。
g.平均その他手当	本人の1ヶ月当りe.平均基本給及びf.平均時間外手当以外の手当額（例：賞与、役職、資格、通勤、住宅、家族など）を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は本人が従事した期間の平均とします。 賞与は、1ヶ月当りに換算して、加えてください。（例：年間賞与÷12か月）
h.平均給料手当料	『e.』＋『f.』＋『g.』の合計額が自動算出されます。
j.金　額	『h.』×『j.』が自動算出されます。（千円以下は四捨五入）
l.延　人（下段の合計）	月別社員等従業員数の合計が自動算出されます。
m.月別社員等従業員数	工事の開始月から終了月まで、各月毎の勤務割合を記入してください。 注1）1ヶ月間、全て従事した場合を100%とし、1.00（人／月）とします。 注2）月の途中から従事した場合は、日割りで計算してください。 例）対象工事に従事した日数÷その月の出勤日数＝当該勤務割合 5日(対象工事従事日数)÷23日(当月出勤日数)＝0.22(人/月) 1日(対象工事従事日数)÷23日(当月出勤日数)＝0.04(人/月) 注3）他の工事と兼務している場合は、対象工事の勤務割合で按分してください。 例）調査対象工事に、70%程度従事した場合：70÷100＝0.70（人／月） 注4）小数第2位までを入力してください。

注）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

・入力操作方法（2-1_社員等従業員給料等_自社分シート）

自社分の入力欄が50列（50人分）表示されています。
また、期間は129行（129ヶ月分）表示されています(下図はうち一部分)。



①工期を設定してください（貴社が調査対象工事に関わった始まりから終わりまでの期間）
②自社の該当職員を1番の列から順に記入してください。
③b.～g.記入後に各月の対象工事への勤務（従事）割合を0.00から1.00の間で記入してください。

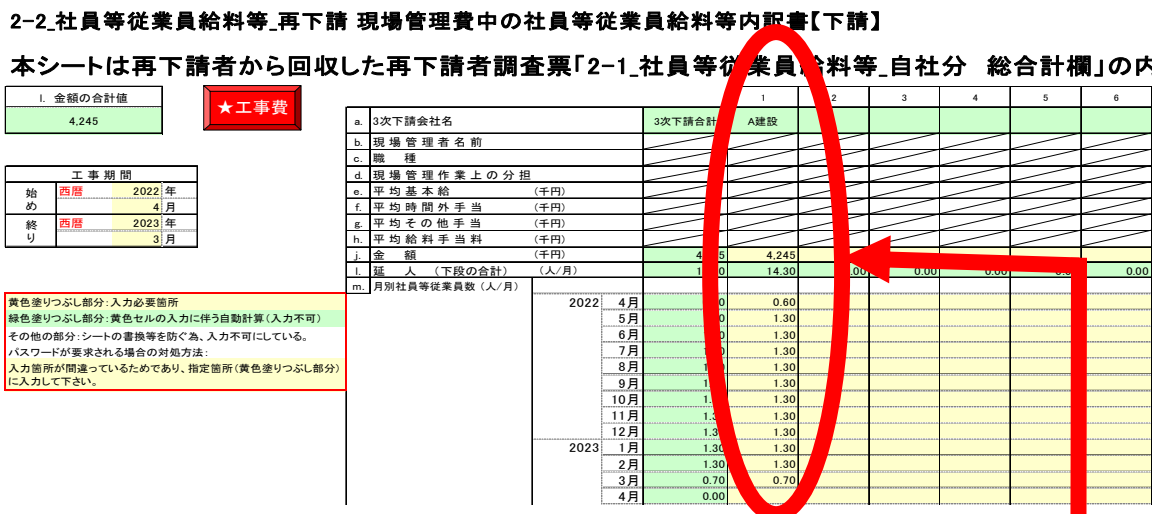
「2-2_社員等従業員給料等_再下請分」シート

再下請負者における現場管理費中の社員等従業員給料等内訳について、回収した再下請調査票『2-1_社員等従業員給料等_自社分』より転記します。

以下の例を参考に、転記してください。

例（2-2_社員等従業員給料等_再下請分）

下請『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シート：例）一次下請



再下請『2-1_社員等従業員給料等_自社分』シート：例）二次下請

※赤枠部分を転記してください。

「3_法定福利費」シート　下請者の法定福利費内訳

本シートでは、自社及び再下請者における**現場管理費中の法定福利費内訳**について入力してください。

注1）調査対象工事に従事した者の各種保険料を入力してください。

注2）各種保険料は、『調査対象工事における事業主負担額』分を入力してください。

注3）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『3_法定福利費』シートの内容（入力例の赤枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における法定福利費が、適正に記入されていることを確認してください。

注4）該当する費目が無い場合は、『 0 』を入力してください。

例）調査対象工事において、船員保険料を掛ける必要が無い場合。

注5）各項目の合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ト 法定福利費』の各項目に自動計上されます。

注6）A労災保険料について、有期の建設事業の場合、一括して元請負人のみを適用事業主として保険関係を成立させる為、基本的に下請者の労災保険費用負担はありませんので、事業主負担額は『 0 』になります。ただし、以下の条件に該当する下請者は労災保険料を入力してください。

※有期の建設事業において、元請負人及び下請負人の申請により一定の事業の規模を有する下請負事業を元請事業に一括することなく分離して保険関係を成立した場合。（下請事業の概算保険料の額が160万円以上又は請負金額が1億8000万円以上になる場合であって、**元請負人と下請負人が共同で、「下請負人を事業主とする認可申請書」を提出し、政府の許可を取得した場合）**

注7）自社において個別に加入している労災保険については『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 へ保険料』の「その他労災保険（法定外を含む）」に入力してください。

・入力例(3_法定福利費シート)

下請『3_法定福利費』シート:例)一次下請

例)一次下請

	総合計 ※転記用	自社分(1次下請会社)	2次下請会社分
会社名		○○建設(株)	○×建設
工　種		土工	土木工事
基本情報			
1.支払賃金総額(当該工事のみ)(千円)	600	400	200
(参考:支払賃金総額=「★工事費」シートの『①直接工事費(2)労務費等』+『②間接工事費(3)現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』)		0	0
2.従事者延べ人数(人)(当該工事での従事者延べ人数)	33.0	21.0	12.0
3.一人一日当たりの賃金(千円/人日)	18	19	17
4.入力確認(一人一日当たりの賃金)		OK	OK
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
A 労災保険料 元請が工事現場全体で加入している場合は、下請の建設会社の保険料の負担額は 0 になります。(元請が工事現場全体で契約していない場合、警備業等、負担がある場合もあります。)			
1.事業主負担額(千円)	0	0	0
2.事業の種類		入力不要→	入力不要→
3.算出方法		入力不要→	入力不要→
4.支払い賃金合計(千円)		入力不要→	入力不要→
5.税抜の工事請負金額(千円)(労災保険の対象となる工事請負金額)		入力不要→	入力不要→
7.労務費率(%)			
8.保険率(‰)パーミリ1/1000の単位です			
9.事業主負担額の自動計算値(千円)			
10.入力確認(事業主負担額)			
(支払い賃金合計)			
11.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
B 雇用保険料 『建設の事業』で『平成31年4月1日～令和4年3月31日』は、8.0‰です。『令和4年4月1日～令和4年9月30日』は、8.5‰です。『令和4年10月1日～令和5年3月31日』は、10.5‰です。『令和5			
1.事業主負担額(千円)	7	5	2
2.支払い賃金合計(千円)	600	400	200
3.対象者延べ人数(人)	33.0	21.0	12.0
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 11.5‰	7	5	2
5.入力確認(事業主負担額)		OK	OK
(支払い賃金合計)		OK	OK
(対象者延べ人数)		OK	OK
6.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
C 健康保険料(介護保険料含む) 保険組合、地区、納付日により率が変わります。			
1.事業主負担額(千円)	34	23	11
2.支払い賃金合計(千円)	600	400	200
3.対象者延べ人数(人)	33.0	21.0	12.0
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 介護保険あり 5.91%	35	24	12
5.事業主負担額の自動計算値(千円) 介護保険なし 5.00%	30	20	10
6.入力確認(事業主負担額)		OK	OK
(支払い賃金合計)		OK	OK
(対象者延べ人数)		OK	OK
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
D 厚生年金保険料(子ども・子育て拠出金も含めてください) 下記の率は厚生年金保険料の一般的な率です。(基金加入の免除分、子ども・子育て拠出金の率は含まれません)			
1.事業主負担額(千円)	55	37	18
2.支払い賃金合計(千円)	600	400	200
3.対象者延べ人数(人)	33.0	21.0	12.0
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 坑内員、船員 9.15%	55	37	18
5.事業主負担額の自動計算値(千円) 一般 9.15%	55	37	18
6.入力確認(事業主負担額)		OK	OK
(支払い賃金合計)		OK	OK
(対象者延べ人数)		OK	OK
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
E 建退共制度掛金等			
1.事業主負担額(千円)			
2.証紙配布人数(人)			
F 船員保険料(介護保険料含む) 保険組合、地区、納付日により率が変わります。			

再下請『3_法定福利費』シート:例)二次下請

	総合計 ※転記用	自社分(2次下請会社)	3次下請会社分
会社名		○×建設	
工　種		土木工事	
基本情報			
1.支払賃金総額(当該工事のみ)(千円)	200	200	
(参考:支払賃金総額=「★工事費」シートの『①直接工事費(2)労務費等』+『②間接工事費(3)現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』)		0	0
2.従事者延べ人数(人)(当該工事での従事者延べ人数)	12.0	12.0	
3.一人一日当たりの賃金(千円/人日)	17	17	
4.入力確認(一人一日当たりの賃金)		OK	
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
A 労災保険料 元請が工事現場全体で加入している場合は、下請の建設会社の保険料の負担額は 0 になります。(元請が工事現場全体で契約していない場合、警備業等、負担がある場合もあります。)			
1.事業主負担額(千円)	0	0	0
2.事業の種類		入力不要→	入力不要→
3.算出方法		入力不要→	入力不要→
4.支払い賃金合計(千円)		入力不要→	入力不要→
5.税抜の工事請負金額(千円)(労災保険の対象となる工事請負金額)		入力不要→	入力不要→
7.労務費率(%)			
8.保険率(‰)パーミリ1/1000の単位です			
9.事業主負担額の自動計算値(千円)			
10.入力確認(事業主負担額)			
(支払い賃金合計)			
11.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
B 雇用保険料 『建設の事業』で『平成31年4月1日～令和4年3月31日』は、8.0‰です。『令和4年4月1日～令和4年9月30日』は、8.5‰です。『令和4年10月1日～令和5年3月31日』は、10.5‰です。『令和5			
1.事業主負担額(千円)	2	2	
2.支払い賃金合計(千円)	200	200	
3.対象者延べ人数(人)	12.0	12.0	
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 11.5‰	2	2	
5.入力確認(事業主負担額)		OK	
(支払い賃金合計)		OK	
(対象者延べ人数)		OK	
6.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
C 健康保険料(介護保険料含む) 保険組合、地区、納付日により率が変わります。			
1.事業主負担額(千円)	11	11	
2.支払い賃金合計(千円)	200	200	
3.対象者延べ人数(人)	12.0	12.0	
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 介護保険あり 5.91%	12	12	
5.事業主負担額の自動計算値(千円) 介護保険なし 5.00%	10	10	
6.入力確認(事業主負担額)		OK	
(支払い賃金合計)		OK	
(対象者延べ人数)		OK	
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
D 厚生年金保険料(子ども・子育て拠出金も含めてください) 下記の率は厚生年金保険料の一般的な率です。(基金加入の免除分、子ども・子育て拠出金の率は含まれません)			
1.事業主負担額(千円)	18	18	
2.支払い賃金合計(千円)	200	200	
3.対象者延べ人数(人)	12.0	12.0	
4.事業主負担額の自動計算値(千円) 坑内員、船員 9.15%	18	18	
5.事業主負担額の自動計算値(千円) 一般 9.15%	18	18	
6.入力確認(事業主負担額)		OK	
(支払い賃金合計)		OK	
(対象者延べ人数)		OK	
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由			
E 建退共制度掛金等			
1.事業主負担額(千円)			
2.証紙配布人数(人)			

赤枠内を再下請(二次下請)欄へ転記してください。
注)総合計欄を転記してください。

・入力項目（3_法定福利費シート）

項　目	内　容
会社名	再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数に応じて表示されます。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。 再下請会社名は、『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。
工種	自社分は『★工事費』シートの自社分で入力した工種が表示されます。 再下請会社名は、『1-2_下請入力』で入力した工種が表示されます。
基本情報	1.調査対象工事における『支払い賃金総額』を入力してください。 参考として、 支払賃金総額＝「★工事費」シートの『①直接工事費（2）労務費等』 ＋『②間接工事費（3）現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』 が、表示されます。（先に「★工事費」シートの入力が必要です。） 2.調査対象工事における『従事者延べ人数』を入力してください。（人数×日数） 参考 従事者延べ人数＝「★工事費」シートの『⑰延実人員数と作業日数 （9）延べ人員合計』 1人の1日分の作業量を1としています。 例：2人で5日かかった。　2×5＝10 5人で2日かかった。　5×2＝10 3.一人一日当たりの賃金の自動計算値が表示されます。 4.入力確認欄には、上記自動計算値の妥当性の判定結果が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありませんので次に進んで下さい。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （一人一日当たりの賃金） ・「一人一日当たりの賃金が過大」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が少ない可能性があります。 ・「一人一日当たりの賃金が過小」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が多い可能性があります。入力した値を再度確認してください。 5.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。

項　目	内　容
A　労災保険料	1.調査対象工事における労災保険料の『事業主負担額』を入力してください。 　元請が工事現場全体で加入している場合は、下請の建設会社の保険料の負担額は 0 になります。（元請が工事現場全体で契約していない場合、警備業等、負担がある場合もあります。） 　法定外の労災保険は「★工事費」シート　②間接工事費　(3)現場管理費　へ保険料に計上してください。
	2.調査対象工事の『事業の種類』を選択してください。 （**表 1　事業の種類**を参照） 『事業の種類』に該当する項目が無い場合は、『その他の建設事業』を選択し、『11.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』の欄に労災保険率を入力してください。 　例えば、「労災保険率を〇〇‰で算出している為」等。
	3.調査対象工事の労災保険料の『算出方法』を選択してください。 　　1:支払い賃金合計×保険料率 もしくは、2:（工事請負金×労務費率）×労災保険率
	4.上記3.で『1:支払い賃金合計×労災保険率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。 **注）上記3.で『2:工事請負金×労務費率）×労災保険率』を選択した場合は、入力の必要はありません。**
	5.上記3.で『2:（工事請負金×労務費率）×労災保険率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険の対象となる『工事請負金額』を入力してください。 **注）上記3.で『1:支払い賃金合計×労災保険率』を選択した場合は、入力の必要はありません。**
	7.調査対象工事における『労務費率（%）』が表示されます。厚生労働省の令和7年度の労災保険率等の労務費率表を参考に表示しています。
	8.調査対象工事における『労災保険率（‰）』が表示されます。厚生労働省の令和7年度の労災保険率等の労務費率表を参考に表示しています。
	9. 参考として調査対象工事における労災保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。厚生労働省の令和7年度の労災保険率等の労務費率表を参考に表示しています。
	10.入力確認欄 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （事業主負担額） ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1.事業主負担額』を再度確認してください。 （支払い賃金合計） ・3.算出方法で『1:支払い賃金合計×労災保険率』を選択した場合に有効となります。 ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『4.支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。
	11.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。 例えば、「会社独自の保険料率を〇〇‰で算出している為」等。

項　目	内　容
B　雇用保険料	1.調査対象工事における現場従業員及び現場労働者雇用保険料の『事業主負担額』を入力してください。（千円） 2.調査対象工事における雇用保険対象者の『支払い賃金合計』を入力してください。非加入の方は除いてください。（千円） 3.調査対象工事における雇用保険対象者の『対象者延べ人数』を入力してください。非加入の方は除いてください。（人数×日数） 4. 参考として調査対象工事における雇用保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。厚生労働省の令和7年度の雇用保険料率について『建設の事業』で工事期間が『令和7年4月1日～令和8年3月31日』を参考に表示しています。 5.入力確認欄 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （事業主負担額） ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1.事業主負担額』を再度確認してください。 （支払い賃金合計） ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『2.支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 （対象延べ人数） ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3.対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 6.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。 例えば、「会社独自の保険料率を〇〇%で算出している為」「一般の事業の為、雇用保険料率が違う為」「雇用保険の対象外の人がいる為」等。

項　目	内　容
C　健康保険料 （介護保険料含む）	1.調査対象工事における現場従業員及び現場労働者の健康保険料（介護保険料含む）の『事業主負担額』を入力してください。（千円） 2.調査対象工事における健康保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。非加入の方は除いてください。（千円） 3.調査対象工事における健康保険対象の『対象者延べ人数』を入力してください。非加入の方は除いてください。（人数×日数） 4. 参考として調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度保険料額表の東京都を表示しております。（労使折半割合を半分ずつで計算。）（保険組合、地区、納付日により率が変わります。） 5.参考として調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度保険料額表の東京都を表示しております。（労使折半割合を半分ずつで計算。）（保険組合、地区、納付日により率が変わります。） 6.入力確認欄 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （事業主負担額） ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1.事業主負担額』を再度確認してください。 （支払い賃金合計） ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C健康保険料およびF船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 （対象延べ人数） ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、C健康保険料およびF船員保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 7.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。 例えば、「〇〇健康保険組合の保険料率〇〇％で算出している為」「国民健康保険の為、0を入力しました」等。

項　目	内　容
D　厚生年金保険料 （子ども・子育て拠出金も含む）	1.調査対象工事における現場従業員及び現場労働者の厚生年金保険料の『事業主負担額』を入力してください。子ども・子育て拠出金がある場合は、含めて計上してください。（千円）
	2.調査対象工事における厚生年金保険料対象者の『支払い賃金合計』を入力してください。非加入の方は除いてください。（千円）
	3.調査対象工事における厚生年金保険料対象者の『対象者延べ人数』を入力してください。非加入の方は除いてください。（人数×日数）
	4.参考として調査対象工事における坑内員、船員の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度保険料額表を表示しております。
	5.参考として調査対象工事における一般作業員の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度保険料額表を表示しております。
	6.入力確認欄 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （事業主負担額） ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1.事業主負担額』を再度確認してください。 （支払い賃金合計） ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C健康保険料およびF船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 （対象延べ人数） ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3.対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。
	7.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。 例えば、「〇〇健康保険組合の保険料率〇〇%で算出している為」「国民健康保険の為、0を入力しました」等。
E　建退共制度掛金等	入力不要の項目です。

項　目	内　容
F　船員保険料 （介護保険料含む）	1.調査対象工事における現場従業員及び現場労働者の船員保険料（介護保険料含む）の『事業主負担額』を入力してください。（千円） 2.調査対象工事における船員保険料対象者の『支払い賃金合計』を入力してください。非加入の方は除いてください。（千円） 3.調査対象工事における船員保険料対象者の『対象者延べ人数』を入力してください。非加入の方は除いてください。（人数×日数） 4.参考として調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度船員保険料額表を表示しております。 5.参考として調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。全国健康保険協会の令和7年度船員保険料額表を表示しております。 6.入力確認欄 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 （事業主負担額） ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1.事業主負担額』を再度確認してください。 （支払い賃金合計） ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、F船員保険料およびC健康保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 （対象延べ人数） ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、F船員保険料およびC健康保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 7.上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、**メッセージが表示された理由を必ず記入**して下さい。 例えば、「〇〇保険組合の保険料率〇〇%で算出している為」「該当なし」等。

法定福利費合計	「A～F」までの合計額が自動算出されます。

注1）法定保険料の入力に際しては、調査対象工事において実際に要した法定保険料（事業主負担額）を入力してください。

注2）法定保険料を年払いで処理している場合は、下記の式により算出しても構いません。

例1）按分で算出

入力する法定保険料＝年間支払い金額 ×（当該現場作業日数 ÷ 年間作業日数）

例2）率で算出

入力する法定保険料＝支払い賃金合計 × 保険料率

注3）厚生年金上乗せ給付分（厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等）がある場合は、『②間接工事費（3）現場管理費 チ 福利厚生費』に計上してください。

注4）法定外の労災保険は「★工事費」シート ②間接工事費 (3)現場管理費 へ保険料 に計上してください。

注5）労災保険で還付金がある場合は、差し引いてください。

注6）中小企業退職金共済法掛金事業主負担額がある場合は、『②間接工事費（3）現場管理費 ホ 退職金』に計上してください。

注7）各項目の合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ト 法定福利費』の各項目に自動計上されます。

表 1 事業の種類

事業の種類
水力発電施設、ずい道等新設事業
道路新設事業
舗装工事業
鉄道又は軌道新設事業
建築事業（既設建築物設備工事業を除く）
既設建築物設備工事業
機械装置の組立て又は据付けの事業（組立て又は取付けに関するもの）
機械装置の組立て又は据付けの事業（その他のもの）
その他の建設事業
倉庫業、警備業、消毒又は害虫駆除の事業又はゴルフ場の事業

「4_労務管理費」シート

自社及び再下請者における**現場管理費中の労務管理費内訳について入力します。**

注1）賃金（労務費）以外に、現場労働者に係る費用の内訳を入力してください。

注2）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『4_労務管理費』シートの内容（入力例の赤枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における労務管理費が、適正に記入されていることを確認してください。

注3）自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『 0 』を入力してください。

注4）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

・入力例（4_労務管理費シート）
　下請『4_労務管理費』シート：例）一次下請

4_労務管理費_下請 現場管理費中の労務管理費【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

（注1）「左列」に自社分（1次下請業者）を記入し、「右列」に2次下請業者が作成した「4_労務管理費」シートの「総合
（注2）3次下請がある場合には、右列に2次と3次の合計した労務管理費を2次下請費用として記入してください。

現場労働者にかかわる労務管理費（a～e）について入力してください。（該当する費用がない場合は、「0」を入力してください）

金額単位：千円

f.金額の合計値
30

現場労働者にかかわる		総合計 ※転記用	自社分 1次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名	2次 下請者名
費 用	内 容		（株）●●建設工業		3		4
a. 募集・解散費	労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当	10	0	10			
b. 慰安・娯楽・厚生費	労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金	0	0	0			
c. 作業被服費	作業用具、作業服の費用 （但し、工事費に含めている場合は除く）	20	20	0			
d. 賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の営繕費(労働者送迎費)に記入	0	0	0			
e. 災害時負担費用	労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用	0	0	0			
当該工事労務管理費	a+b+c+d+e	30	20	10	0	0	0

再下請『4_労務管理費』シート：例）二次下請

4_労務管理費_下請 現場管理費中の労務管理費【下請】

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

（注1）「左列」に自 2次下請業者）を記入し、「右列」に3次下請業者が作成した「4_労務管
（注2）4次下請が 合には、右列に3次と4次の合計した労務管理費を3次下請費用として

現場労働者にかかわる労務管理費（a～e）について入力してください。（該当する費用がない場合は、「0」を入力してください）

金額単位：千円

f.金額の合計値
10

現場労働者にかかわる		総合計 ※転記用	自社分 2次 下請者名	3次 下請者名	3次 下請者名	3次 下請者名
費 用	内 容		●●建設(株) 1	（有）●●工業 2		3
a. 募集・解散費	労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当	10	5	5		
b. 慰安・娯楽・厚生費	労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金	0	0	0		
c. 作業被服費	作業用具、作業服の費用 （但し、工事費に含めている場合は除く）	0	0	0		
d. 賃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の営繕費(労働者送迎費)に記入	0	0	0		
e. 災害時負担費用	労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用	0	0	0		
当該工事労務管理費	a+b+c+d+e	10	5	5	0	0

赤枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。
注）総合計欄を転記してください。

・入力項目（4_労務管理費シート）

項　目	内　容
会社名	自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。 再下請会社名は、『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。
a.募集・解散費	調査対象工事における労働者の『赴任手当』、『帰省旅費』及び『解散手当』の合計額を入力してください。
b.慰安・娯楽・厚生費	調査対象工事における労働者の『慰安旅行費』、『慰安会費用』及び『慶弔金』の合計額を入力してください。
c.作業被服費	調査対象工事における労働者の『作業用具の費用』及び『作業服の費用』の合計額を入力してください。 注）直接工事費及び共通仮設費に含まれない『作業用具』及び『作業用被服』の費用を計上してください。
d.賃金以外の食事、通勤時に要する費用	調査対象工事おける労働者の『早出、残業時等の飲食費（事業主負担分）』、『食事補助費』及び『支給した交通費』の合計額を入力してください。 **注）マイクロバス等の送迎費用は、『②間接工事費（1）共通仮設費 ト 営繕費 D 労働者送迎費』に計上してください。** 注）社員等従業員が本支店等に出張した旅費、発注者等への連絡交通費等は、『②間接工事費　(3)現場管理費　ヌ通信交通費』に入力してください。
e.災害時負担費用	調査対象工事における労働者の『看護費』及び『見舞金』等の合計額を入力してください。 注）労災保険等による給付以外の災害時に事業主が負担した費用を計上してください。
当該工事労務管理費 ：a+b+c+d+e	「a～e」までの合計額が自動算出されます。

注）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

「5-1_機器材運搬費」シート

自社及び再下請者における**運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）内訳について入力します。**

注1）工事施工に必要な機器材等の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。

注2）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-1_機器材運搬費』シートの内容（入力例の赤枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）が、適正に記入されていることを確認してください。

注3）自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『０』を入力してください。

注4）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。

・入力例（5-1_機器材運搬費シート）

下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）一次下請

項目	内容	総合計 ※転記用	1次 下請者名	2次 下請者名
			(株)△△建設	1 △△工業(株) 2
1) 仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保）、仮囲い、構梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）	100	100	0
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等	150	0	150
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等	0	0	0
4) 敷鉄板①	粉体噴射撹拌工足場材（敷鉄板）、スラリー撹拌工足場材（敷鉄板）、構梁架設工ベント基礎（敷鉄板）等	0	0	0
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮道用の敷鉄板	0	0	0
6) 敷鉄板③	「敷鉄板①・敷鉄板②」以外で発生した敷鉄板	0	0	0
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ計上としている敷鉄板 例：発注者が敷鉄板設置撤去工等で積上げた敷鉄板	0	0	0
8) 構梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等 架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼	0	0	0
9) 構梁用架設タワー等	PC構片持ち架設工（作業車）、構梁ベント、鋼構架設工ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼構架設工ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワー等。	0	0	0
10) 構梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等	0	0	0
11) 積み込み取り卸し費	「2)仮設材②」の項目、「7)敷鉄板④」の項目及び「8)構梁等架設支保工」の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積み込			
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルに要した費用			
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	コンクリートダム堤体打設現場へ資機材（仕上 材料、型枠工材料、グリーンカット発生材 及び使用機器類）等を搬入・搬出するために 転に要する費用			
21) その他①	上記「1)～13)」以外で発注者が積上げ計上としている費用	0	0	0
	具体的内容	0		
31) その他②	上記「1)～21)」以外で要した費用	0	0	0
	具体的内容	0		
合計		150	100	[illegible]

赤枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。
注）総合計欄を転記してください。

再下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）二次下請

調査票『5-1_機器材運搬費_下請』シートの総合計欄（赤枠）の金額		計	各下請	自社分		
項目	内容		2次 下請者名	3次 下請者名	3次 下請者名	
			(株)●●建設工業	1 ●●建設(株)	2	
1) 仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保））、仮囲い、構梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）	0	0	0		
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等	150	100	50		
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等	0	0	0		
4) 敷鉄板①	粉体噴射撹拌工足場材（敷鉄板）、スラリー撹拌工足場材（敷鉄板）、構梁架設工ベント基礎（敷鉄板）等	0	0	0		
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮道用の敷鉄板	0	0	0		
6) 敷鉄板③	「敷鉄板①・敷鉄板②」以外で発生した敷鉄板	0	0	0		
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ計上としている敷鉄板 例：発注者が敷鉄板設置撤去工等で積上げた敷鉄板	0	0	0		
8) 構梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等 架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼	0	0	0		
9) 構梁用架設タワー等	PC構片持ち架設工（作業車）、構梁ベント、鋼構架設工ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼構架設工ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワー等。	0	0	0		
10) 構梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置、降下設備、軌条等	0	0	0		
11) 積み込み取り卸し費	「2)仮設材②」の項目、「7)敷鉄板④」の項目及び「8)構梁等架設支保工」の基礎用鋼矢板又はH形鋼の積み込み取り卸費	0	0	0		
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルに要した費用	0	0	0		
13) コンクリートダム堤体工における雑運搬	コンクリートダム堤体打設現場へ資機材（仕上げ掘削ずり、埋設工材料、型枠工材料、グリーンカット発生材、横坑閉塞関連及び使用機器類）等を搬入・搬出するために要したクレーン運転に要する費用	0	0	0		
21) その他①	上記「1)～13)」以外で発注者が積上げ計上としている費用	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0		
31) その他②	上記「1)～21)」以外で要した費用	0	0	0		
	具体的内容	0	0	0		
合計		150	100	50		0

・入力項目（5-1_機器材運搬費シート）

項　目	内　容
会社名	自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。 再下請会社名は、『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。
1）仮設材①	型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保）の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
	注）橋梁架設に使用する枠組支保材の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。
2）仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板等の搬入、搬出並びに搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
3）仮設材③	排砂管、トレミー管等の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
4）敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設工ベント基礎（敷鉄板）等の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
5）敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮道用の敷鉄板の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
6）敷鉄板③	『4）敷鉄板①』及び『5）敷鉄板②』以外で発生した敷鉄板の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
7）敷鉄板④	発注者が**積上げ分として計上している敷鉄板**の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。 注）発注者が敷鉄板設置撤去工等で積上げた敷鉄板の場合
8）橋梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。 注）架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。
9）橋梁用架設タワー等	PC橋片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼橋架設工ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼橋架設工ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワーの搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
10）橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
11）積み込み取り卸し費	『2）仮設材②の鋼矢板、H形鋼、覆工板等』、『7）敷鉄板④の敷鉄板』及び『8）橋梁等架設支保工の基礎用鋼矢板、またはH形鋼』の積み込み取り卸しに要した費用の合計額を入力してください。
12）トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルの搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。
21）その他①	上記「1）～12）」以外の機器材の搬入・搬出、現場内小運搬並びに日々回送に要した費用を入力してください。 注）発注者が積上げ分として計上としている費用を入力してください。
31）その他②	上記「1）～21）」以外で要した費用を入力してください。 例）ダンプカー用泥落としの現場内小運搬
合計	「1）～31）」の合計額が自動算出されます

注1）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。

「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シート

自社及び再下請者における**運搬費（建設機械Ⅰ・Ⅱの運搬に係る費用）内訳について入力します。**

注1）工事施工に必要な『建設機械Ⅰ・Ⅱ』の運搬に要した費用を入力してください。

『建設機械Ⅰ・Ⅱ』とは、運搬する建設機械の大きさ、種類、または運搬方法により、入力項目を分類したものです。

注2）該当する費用が無い場合は、入力する必要はありません。

注3）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートの内容（入力例の赤枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における運搬費（建設機械Ⅰの運搬に係る費用）が、適正に記入されていることを確認してください。

注4）自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『０』を入力してください。

注5）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 B 建設機械Ⅰ、C 建設機械Ⅱ』の項目に自動計上されます。

・入力項目（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱシート）

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">内　容</th></tr>
<tr><td>項目①</td><td>会社名</td><td colspan="2">対象機械を使用した会社名をプルダウンリストから選択してください。
「1_一般事項」シートの会社名及び、「1-2_下請入力」シートに入力した会社名がプルダウンリストに表示されます。
注）再下請の情報を転記する際は以下の点に注意してください

（例）
二次下請より回収した再下請調査票「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シートに三次下請の機械が計上されていた場合、一次下請けの「5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ」シートへ転記する際に<u>三次下請の機械は二次下請の機械として計上</u>してください。</td></tr>
<tr><td>項目②</td><td>運搬の分類</td><td colspan="2">運搬の分類の選択
注）運搬する建設機械の大きさ、種類、運搬方法により、入力する項目が下記の項目（B-1～C-3）に分類されます。
下記の内容を参照し、対象となる入力項目に注意してプルダウンリストから選択運搬の分類をB-1～C-3から選択してください。
<table>
<tr><td>B-1</td><td>質量20t未満の建設機械の運搬（貨物自動車等による運搬、自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。）
注）海上輸送を必要とした場合の自動車航送船使用料に要した費用は、項目『C-3』に入力してください。</td></tr>
<tr><td>B-2</td><td>質量20t以上の建設機械の運搬（自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。）
注1）トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t以上の自走による運搬については、項目『C-2』に入力してください。
注2）質量20t以上の建設機械の現場内小運搬のうち、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解組立費は、項目『C-3』に入力してください。</td></tr>
<tr><td>B-3</td><td>トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～50t吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～70t吊）の分解・組立及び輸送について入力してください。</td></tr>
<tr><td>C-1</td><td>質量20t以上の建設機械の貨物自動車による運搬について入力してください。（分解、組立を含みます。）</td></tr>
<tr><td>C-2</td><td>トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t以上、及びトラッククレーン（ラチスジブ型25t吊および油圧伸縮ジブ型80t以上）の自走による運搬について入力してください。（分解、組立を含みます。）</td></tr>
<tr><td>C-3</td><td>自動車航送船使用料に要する費用及び質量20t以上の建設機械の現場内小運搬で特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合の分解・組立費について入力してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">注）賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型80t以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型35t吊以上）は、分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料を含めた費用を入力してください。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

項目③	建設機械名	建設機械分類	該当する機械分類をプルダウンリストから選択してください。 注）各分類の『その他（機械名フリー入力）』を選択した場合は、具体的な『機械本体名』を入力（上書き）してください。
		名称	機械の名称をプルダウンリストから選択してください。（直接入力もできます。） 注）各分類の『その他』を選択した場合は、具体的な『機械本体名』を入力（上書き）してください。
		規格	選択した機械本体の規格（『数値』）を入力してください。
機械本体質量（t）		『建設機械名』で選択した機械本体の質量を入力してください。	
項目④	1）貨物自動車等による運搬	運搬費（千円）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 **注）『分解組立費』を含めた金額を入力してください。**
		内分解組立費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		内特大品割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『特大品割増費』を入力してください。
		内悪路割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『悪路割増費』を入力してください。
		内冬期割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『冬期割増費』を入力してください。
		内深夜早朝割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『深夜早朝割増費』を入力してください。
		内地区割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『地区割増費』を入力してください。
		内海上輸送費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『海上輸送費』を入力してください。
		内休日割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『休日割増費』を入力してください。
		内待機時間費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『待機時間費』を入力してください。
		内積込・取卸費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『積込・取卸費』を入力してください。
		内その他諸料金	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、上記割増費以外で要した費用を入力してください。 **※その他諸料金を入力した場合、その内容についても入力してください。**
		運搬距離（km）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬距離の合計（**延べ運搬距離**）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬回数の合計（**延べ運搬回数**）を入力してください。（運搬片道を1回とします。）
	2）自走による運搬	運搬費（千円）	選択した機械の『自走による運搬』（自走回送）に要した費用の合計額を入力してください。 **注）『分解組立費』を含めた金額を入力してください。**
		内分解組立費	選択した機械の『自走による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離（km）	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬距離の合計（**延べ運搬距離**）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬回数の合計（**延べ運搬回数**）を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。（運搬片道を1回とします。）
		運搬費（千円）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した費用を入力してください

	3) 日々回送による運搬	内分解組立費	選択した機械の『日々回送による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離（km）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬距離の合計（**延べ運搬距離**）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬回数の合計（**延べ運搬回数**）を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。（運搬片道を1回とします。）
	4）現場内小運搬	運搬費（千円）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した費用を入力してください
		内分解組立費	選択した機械の『現場内小運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
		運搬距離（km）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬距離の合計（**延べ運搬距離**）を入力してください。
		運搬回数（回）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬回数の合計（**延べ運搬回数**）を入力してください。 運搬片道で1回として数えてください。（運搬片道を1回とします。）
項目⑤	合計金額		1)～4)で記載した運搬費の合計が自動で入力されます。

注1）**「路面清掃、ガードレール清掃、トンネル清掃、排水構造物清掃」**の清掃車は、基地から現場間の**回送費用のみ『直接工事費』に計上**してください。

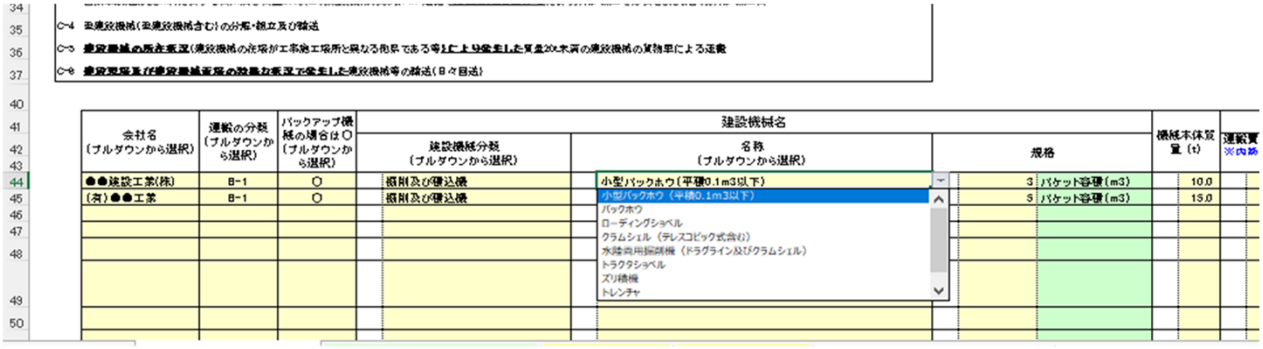
注2）作業料金に運搬費が含まれている場合等、運搬費のみの算出が困難な場合は、『直接工事費』に計上してください。

注3）**「鋼桁、門扉、PC桁等工場製作品の運搬」、「支給品及び現場発生品の運搬」**は対象外とし、別途**『直接工事費』に計上**してください。

注4）合計金額は、『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 B 建設機械Ⅰ・Ⅱ』の項目に自動計上されます。

・入力操作方法（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱシート）
各項目を入力する場合は、以下の操作方法により入力してください。

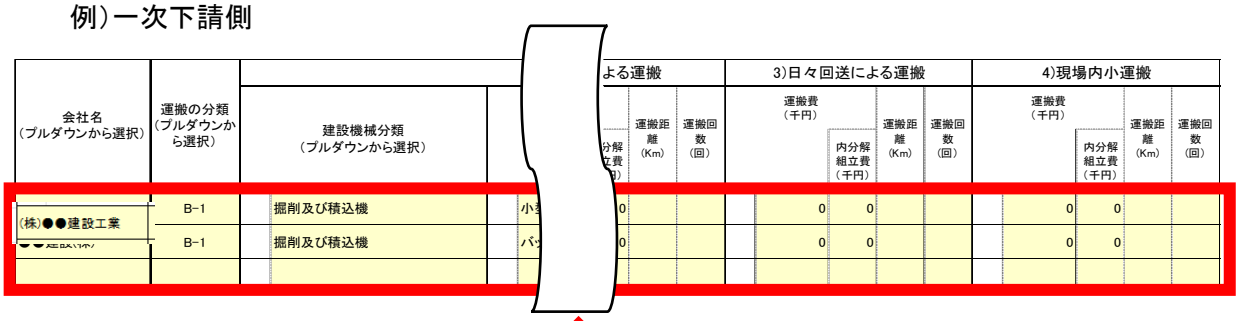
入力する建設機械名はプルタブから選択します。
プルタブに機械名がない場合は直接入力してください。



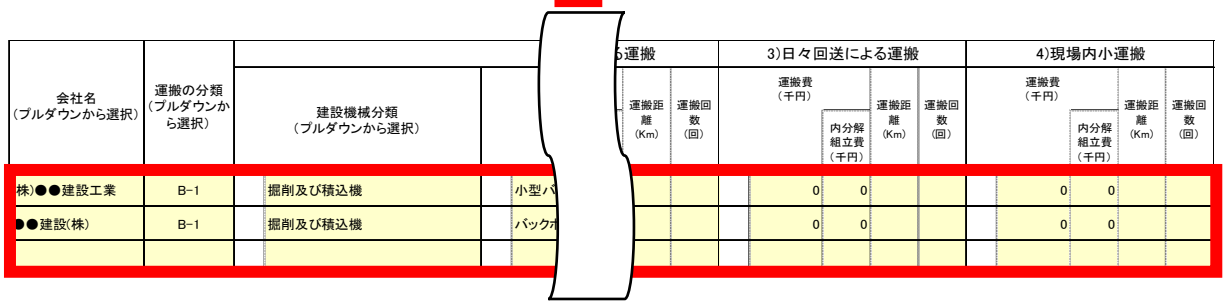
注1）『建設機械名』を入力した行は、全ての入力が完了するまで、メッセージ**「運搬費を入力してください」**（赤字）が表示されたままになります。費用の発生していない項目には「0」を入力してください。

・再下請の転記方法（5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ）

なお、再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例）一次下請側



例）二次下請側



赤枠内を欄へ転記してください。
注）赤枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

「6_準備・測量」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、準備・測量等に要した費用の内訳について入力してください。

本シートの入力金額は、『★工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費 A 準備・測量等、B その他』に転記されます。

注1）項目の詳細については、下記の入力項目を参照してください。

注2）再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『6_準備・測量』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）

注3）当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

注4）準備、測量等に現場管理技術者（元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等、下請：主任技術者等）が従事した場合の費用は、『現場管理費の社員等従業員給料手当』で計上されることになるため、本項目では計上しないでください。

注5）元請者及び下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。

注6）建設副産物等の処理費用は、『①直接工事費（6）処分費等』と重複させないでください。

注7）準備・測量等の際に要した『交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理に要した費用』は、『②間接工事費（1）共通仮設費 ニ 安全費 B 交通誘導警備員等』に計上してください。

注8）伐開とは、雑木や小さな樹木・竹などの除去で、ブルドーザ、レーキドーザ、あるいはバックホウ等による作業です。

注9）伐採とは、樹木をチェンソー等により切り倒す作業です。

・入力項目（6_準備・測量シート）

項　目			内　容
項目①	合計表		各社列ごとに、下記A-1からB-5で記入した内容が表に自動で合計されます。合計された各数値は『★工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費 A 準備・測量等、B その他』に転記されます。
項目②	A準備・測量等		
		A－1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1 着手時の準備費用，完成時の後片付費用，施工期間中における準備・後片付費用について記入して下さい。 ※処分費用は、再資源化施設または最終処分場への運搬を含む処分費用とします。 2　その他　上記1以外について入力してください
		A－2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1 工事着手前の基準測量、縦・横断面図の照査、用地幅杭等の仮移設、丁張の設置等の費用について入力して下さい。 3　その他　上記以外について入力してください

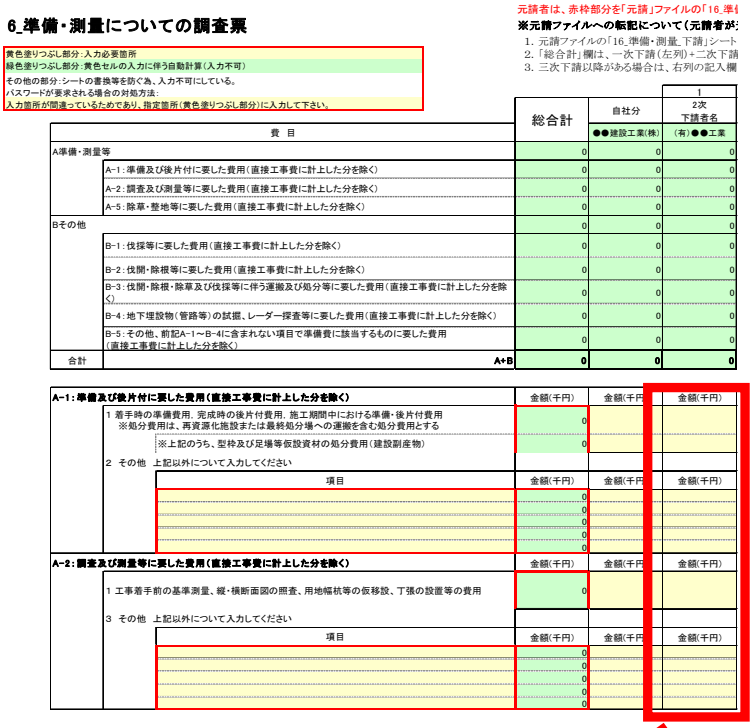
	Ａ－３：伐開に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1 ブルドーザ，レーキドーザ，バックホウ等による雑木や小さな樹木，竹などを除去する伐開に要する費用（樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。）について入力してください。 2 伐開作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください。 3　その他　上記1、2以外について入力してください ※現場内の集積・積込み作業も含みます。 ※伐開とは、雑木や小さな樹木・竹などの除去で、ブルドーザ、レーキドーザあるいはバックホウ等による作業をいいます。
	Ａ－４：除根に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1　除根に要する費用（伐採作業は含まない） 2　除根作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください。 3　その他　上記1、2以外について入力してください ※現場内の集積・積込み作業も含みます。
	Ａ－５：除草・整地等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	除草・整地等に要した費用を入力してください（直接工事費に計上した分を除く）。 ※草刈り機による人力草刈りを含みます。 1 除草に要する費用について入力してください 2 整地に要する費用について入力してください 3すりつけに要する費用について入力してください 4 段切りに要する費用について入力してください 5 除草作業に伴う現場内の集積・積込みの費用について入力してください 6 その他　上記以外について入力してください
	◎伐開・除根・除草作業の各作業面積	伐開・除根・除草作業を行った面積を入力してください
	Bその他	
	Ｂ－１：伐採等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1　伐採、集積、積込みの伐採面積・費用について入力してください。 ※伐採とは、樹木をチェーンソー等により切り倒す作業をいいます。 2　その他　上記1以外について伐採面積・費用を入力してください 併せて、上記1，2の伐採木の代表的な樹種：伐採本数等を入力してください。

		Ｂ－３：伐開・除根・除草及び伐採等に伴う運搬及び処分等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1 伐開・除根・除草に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬の費用 2 伐採に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬の費用 3 上記1で運搬した建設副産物（資源再利用）等の処分費用 4 上記2で運搬した建設副産物（資源再利用）等の処分費用 5　その他　上記以外について入力してください ※建設副産物等の処理費用は直接工事費の特殊経費と重複しないこと ※処分費用の記入に当たっては、処分場への受入れ費用または再資源化までの費用を記入する また、伐開・除根及び伐採等に伴う運搬・処理の詳細についても記入してください。 ※処分方法は、再資源化施設でのチップ処理、処分場での焼却処分等の具体的な処分方法を記載して下さい。
		Ｂ－４：試掘等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	1 試掘等に要した費用・試掘箇所数について入力してください。 2　その他　上記以外の費用・試掘箇所数について入力してください
		Ｂ－５：その他、前記Ａ－１～Ｂ－４に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	Ａ－１～Ｂ－４に掲げたものの他に、工事の施工上必要な準備作業に要した費用について入力してください。 以下例↓ 1）地下埋設物調査、既設物の防護、地元説明、占用協議、交通管理者協議、設計協議等に要した費用 2) 大型土のう袋の処分に要した費用 **注）セメント袋や通常の土のう袋の処分費は「A準備・測量等のA-1準備及び後片付に要した費用」に入力**してください。

注1）本シート（6_準備・測量）に入力した金額については、「直接工事費」に計上しないでください。

再下請の転記方法（6_準備・測量シート）

再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例）一次下請側（一部抜粋）



6_準備・測量についての調査票

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「16_準
※元請ファイルへの転記について（元請者が
1. 元請ファイルの「16_準備・測量_下請」シート
2. 「総合計」欄は、一次下請（左列）＋二次下請
3. 三次下請以降がある場合は、右列の記入欄

費目		総合計	自社分 ●●建設工業(株)	1 2次 下請者名 （有）●●工業
A準備・測量等		0	0	0
	A-1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	A-2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	A-5：除草・整地等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
Bその他		0	0	0
	B-1：伐採等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	B-2：伐開・除根等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	B-3：伐開・除根・除草及び伐採等に伴う運搬及び処分等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	B-4：地下埋設物（管路等）の試掘、レーダー探査等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	B-5：その他、前記A-1～B-4に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
合計	A+B	0	0	0

A-1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
1 着手時の準備費用、完成時の後片付費用、施工期間中における準備・後片付費用 ※処分費用は、再資源化施設または最終処分場への運搬を含む処分費用とする	0		
※上記のうち、型枠及び足場等仮設資材の処分費用（建設副産物）	0		
2 その他 上記以外について入力してください			
項目	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	0		
	0		
	0		
	0		
	0		
A-2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
1 工事着手前の基準測量、縦・横断面図の照査、用地幅杭等の仮移設、丁張の設置等の費用	0		
3 その他 上記以外について入力してください			
項目	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	0		
	0		
	0		
	0		
	0		

例）二次下請側（一部抜粋）

6_準備・測量についての調査票

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

元請者は、赤枠部分を ファイルの「16_準
※元請ファイルへの いて（元請者が
1. 元請ファイルの「 量_下請」シート
2. 「総合計」欄は、 左列）＋二次下請
3. 三次下請以降 は、右列の記入欄

費目		総合計	● 株）	1 2次 下請者名 （有）●●工業
A準備・測量等		0	0	0
	A-1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	A-2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
	A-5：除草・整地等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	0	0	0
Bその他			0	0
	B-1：伐採等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		0	0
	B-2：伐開・除根等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		0	0
	B-3：伐開・除根・除草及び伐採等に伴う運搬及び処分等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		0	0
	B-4：地下埋設物（管路等）の試掘、レーダー探査等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		0	0
	B-5：その他、前記A-1～B-4に含まれない項目で準備費に該当するものに要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		0	0
合計	A+B		0	0

A-1：準備及び後片付に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）		金額(千円)	金額(千円)
1 着手時の準備費用、完成時の後片付費用、施工期間中における準備・後片付費用 ※処分費用は、再資源化施設または最終処分場への運搬を含む処分費用とする	0		
※上記のうち、型枠及び足場等仮設資材の処分費用（建設副産物）	0		
2 その他 上記以外について入力してください			
項目	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	0		
	0		
	0		
	0		
	0		
A-2：調査及び測量等に要した費用（直接工事費に計上した分を除く）	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
1 工事着手前の基準測量、縦・横断面図の照査、用地幅杭等の仮移設、丁張の設置等の費用	0		
3 その他 上記以外について入力してください			
項目	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
	0		
	0		
	0		
	0		
	0		

赤枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。
注）総合計欄を転記してください。

「7_技術管理費」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_技術管理費』シート内で入力された金額が『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 へ 技術管理費 A～Z』に反映されます。

注1）項目の詳細については、下記の入力項目を参照してください。

注2）再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7_技術管理費』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）

注3）現場管理技術者（主任技術者等）が従事した場合の費用は『現場管理費の社員等従業員給料手当』に計上されることになるため、本項目では計上しないでください。

注4）下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。

注5）当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

・ 入力項目（7_技術管理費）

項目	内容	
項目①	合計表	下記A～Zの入力した金額が自動で合計されます。合計された金額は『★工事費』シート『②間接工事費（1）共通仮設費 へ 技術管理費 A～Z』に転記されます。

項目②	会社名	会社名をプルダウンから選択してください。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。 再下請者の会社名は『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。
	「A-1～Z」の金額の内訳	下記A-1～Zまでの区分をプルダウンから選択のうえ、工種／項目／区分・種別・試験区分・試験項目・費用をそれぞれプルダウンから選択、入力してください。
	区分	区分内容
	A-1：品質管理費等に要した費用	以下の費用について入力してください。 ①出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用 注）CADオペレーターの費用が発生した場合は計上して下さい。（他の計上箇所と重複しないようにして下さい。） ②工程管理のための資料の作成等に要する費用 ④完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品（3次元データの納品含む）等（道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く）に要する費用（オンライン電子納品に要する費用は㉒へ入力してください） ⑤建設材料の品質記録保存に要する費用 ⑥コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用 ⑦コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用 ⑧非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定に要する費用 ⑨微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用 ⑩PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用 ⑪トンネル工（NATM）の計測Aに要する費用 ⑫塗装膜厚施工管理に要する費用 ⑬溶接工の品質管理のための試験等に要する費用（現場溶接部の検査費用を含む） ⑭-1 施工管理で使用するOA機器の費用（情報共有システムに係る費用（登録料及び利用料）を含む）（BIM/CIM関連で要した費用は除く） ⑭-2 施工管理で使用するOA機器の費用（BIM/CIM関連で要した費用） ⑮品質証明に係る費用（品質証明費） ＜対象とする品質証明の内容＞ 1. 契約図書及び関係図書に基づく出来形、品質及び写真管理等、工事全般の品質証明 2. 品質証明書の作成 ⑯建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用 ㉒オンライン電子納品に要する費用

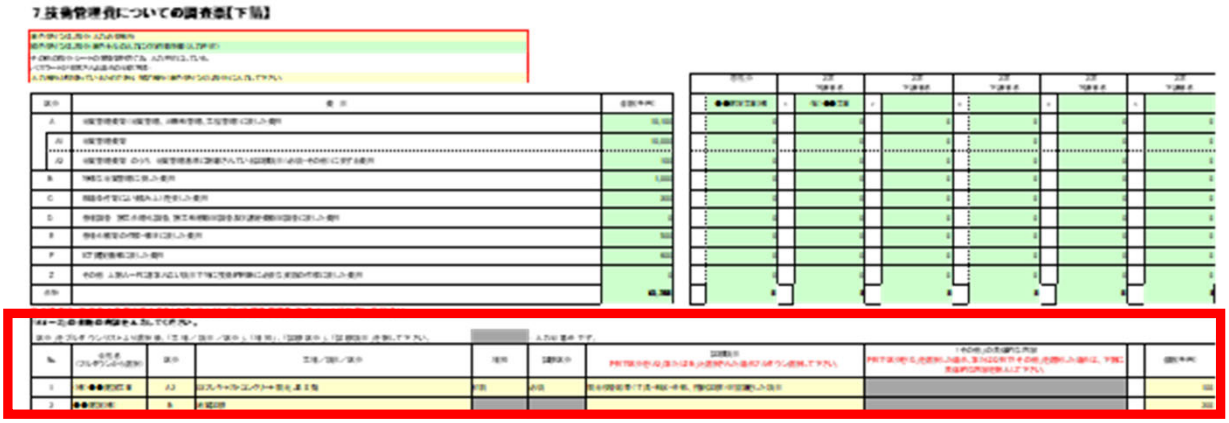
	A-2　品質管理費等　のうち　品質管理基準に記載されている試験項目（必須・その他）に要する費用	01セメント・コンクリート 02プレキャストコンクリート製品_JIS Ⅰ類 03プレキャストコンクリート製品_JIS Ⅱ類 04プレキャストコンクリート製品_その他 05ガス圧接 06既製杭工 07基礎工 08場所杭工 09既製杭工〔中堀り杭工コンクリート打設方式〕 10下層路盤 11上層路盤 12アスファルト安定処理路盤 13セメント安定処理路盤 14アスファルト舗装 15転圧コンクリート 16グースアスファルト舗装 17路床安定処理工 18表層安定処理工〔表層混合処理〕 19固結工 20アンカー工 21補強土壁工 22吹付工 23現場吹付法枠工 24河川土工 25海岸土工 26砂防土工 27道路土工 28捨石工 29コンクリートダム 30覆工コンクリート〔NATM〕 31吹付けコンクリート〔NATM〕 32ロックボルト〔NATM〕 33路上再生路盤工 34路上表層再生工 35排水性舗装工・透水性舗装工 36プラント再生舗装工 37工場製作工〔鋼橋用鋼材〕 38ガス切断工 39溶接工 40中層混合処理 41鉄筋挿入工 その他
	B　特殊な品質管理	特殊な品質管理に要した費用を入力してください。 ・土質等試験：品質管理基準に記載されている項目（上記A）以外の試験 ・地質試験：平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験 ・その他

	C　現場条件等費用	現場条件等により、設計書、特記仕様書等で指定されているものに要した費用を入力してください。 ・軟弱地盤における機器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要した費用 ・試験盛土等の工事に要した費用、トンネル（NATM）の計測B に要した費用 ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要した費用 ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的とした特別な機器（鉄筋探査）を用いた調査に要した費用 ・防護柵の出来形管理のための非破壊試験に要する費用 ・その他
	D　各種調査等	間接工事費等諸経費動向調査、施工合理化調査、施工形態動向調査等に要した費用を入力してください。 注1）**現場事前調査等**は『9_準備・測量_元請』シート**に計上**してください。 注2）**公共事業労務費調査**に要した費用は『★工事費』シート**『②間接工事費(3)現場管理費 ヨ 公共事業労務費調査』に計上**してください。 ・その他
	E　各種台帳等	各種台帳等の作成及び修正に要した費用を入力してください。 ・道路施設基本データ作成費 ・道路施設台帳の作成 ・道路附図の作成及び修正 ・敷地調査 ・路面性状調査 ・その他（上記以外）
	F　ＩＣＴ建設機械	ICT建設機械に要した以下の費用を入力してください。 ・保守点検 ・システム初期費 ・3次元起工測量 ・3次元設計データの作成費用 ・3次元出来形管理資料作成 ・その他（上記以外）
	G　遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費に要した費用を入力してください。
	Z　その他	上記「A～G」以外で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要した費用を入力してください。

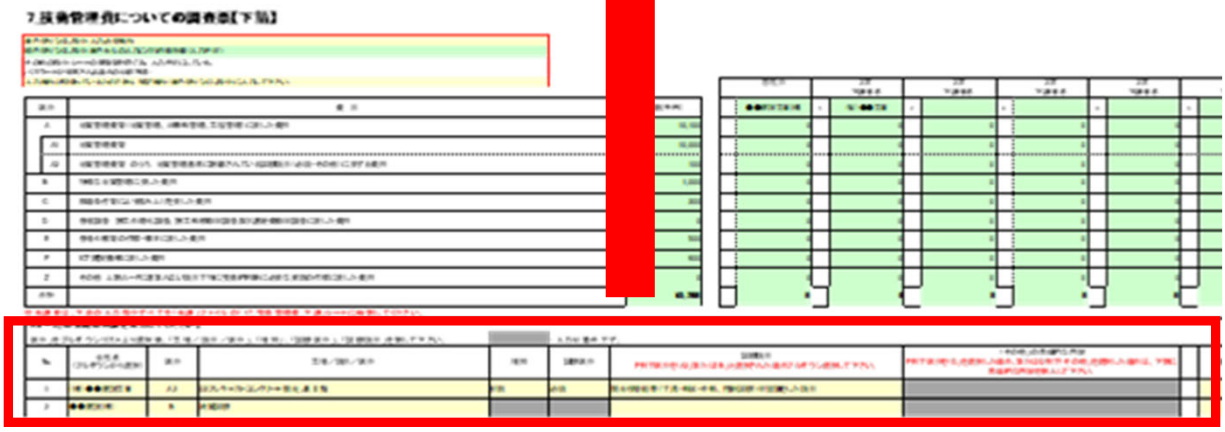
注1）品質管理、出来形管理及び工程管理等に要した費用を入力してください。
注2）測量業者、コンサルタント業者等がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。

再下請の転記方法（7_技術管理費）

再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例）一次下請側



例）二次下請側



赤枠内を欄へ転記してください。
注）赤枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

「8_現場環境改善」シート

自社及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『間接工事費　現場環境改善費』について入力するシートです。
シート内で入力された金額が『★工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費』に自動的に反映されます。
注1）項目の詳細については下記の入力項目を参照してください。
注2）再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8_現場環境改善』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
注3）当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

・ 入力項目（8_現場環境改善シート）

項　目	内　容	
項目①	合計表	各社列について下記A～Zについて入力した内容が自動的に合計されます。合計された金額は『★工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費』に自動的に反映されます。
項目②	現場環境改善費の内訳の入力	下記A～Zについて「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅱ】その他の具体的な内容【Ⅲ】金額（千円）／【Ⅳ】実施内容の概略仕様／【Ⅴ】数　量」を入力して下さい。
	区分	実施内容
	A　仮設備関係	次にあげる費用について入力してください。 ①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減 ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。 **注）『仮囲い、仮歩道マット、模様フェンス』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。**
	B　営繕関係	次にあげる費用について入力してください。 ①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働者宿舎の快適化 ③デザインボックス（交通誘導員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連施設および厚生施設の充実等 ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。 **注）『倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、トイレの水洗化、シャワーの設備、ウォータークーラー、意見箱の設置、観葉植物』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。**
	C　安全関係	次にあげる費用について入力してください。 ①工事標識・照明等安全施設の現場環境改善（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報機等） ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。

	D　地域連携	次にあげる費用について入力してください。 ①完成予想図 ②工法説明図 ③工事工程表 ④デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑤見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑥見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑦パンフレット・工法説明ビデオ ⑧地域対策費等（地域行事等の経費含む） ⑨社会貢献 ⑩その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。
	E1　①熱中症対策費用（作業員個人に対する費用）	次にあげる費用について入力してください。 ①熱中飴・タブレット ②経口補水液 ③熱中症対策キット ④空調服 ⑤ヘルメット取付ソーラー充電式ファン ⑥クーリングベルト ⑦遮光チョッキ ⑧速乾性及び通気性の良い安全チョッキ ⑨その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。
	E2　②熱中症対策費用（現場の施設や設備に対する費用）	次にあげる費用について入力してください。 ①遮光ネット ②作業場用大型扇風機 ③送風機 ④ドライミスト発生器具 ⑤ヘミスト扇風機 ⑥給水器 ⑦冷蔵庫、製氷機、自販機 ⑧日よけテント ⑨簡易休憩所 ⑩休息車 ⑪クーラーボックス ⑫暑さ測定器具 ⑬エアコン ⑭シャワー室 ⑮その他：【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。
	E3　③防寒対策費用	次にあげる費用について入力してください。 ①防寒対策費用
	Z　その他	上記「A～D」以外で要した費用を入力してください。

再下請の転記方法（8_現場環境改善）

再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例）一次下請側

8_現場環境改善費についての調査票【下請】

黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法:
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

区分	費目	金額(千円)
A	仮設備関係	200
B	営繕関係	0
C	安全関係	0
D	地域連携	0
Z	その他	0
合計		200

自社分	2次下請者名 1	2次下請者名 2	2次下請者名 3	2次下請者名 4	2次下請者名 5	2次下請者名 6	2次下請者名 7
(株)●●建設工業	●●建設(株)						
200	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
200	0	0	0	0	0	0	0

※元請者は、下表の入力部分すべてを「元請」ファイルの「18_現場環境改善費_下請」シートに転記してください。

「一次下請会社名」、「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅲ】金額(千円)／【Ⅳ】実施内容の概略仕様／【Ⅴ】数　量」を入力して下さい。
※【Ⅰ】実施内容で、「その他」を選択した場合は、【Ⅱ】その他の具体的な内容」を入力して下さい。

No.	会社名	区分	【Ⅰ】実施内容	「③避暑(熱中症予防)対策」の具体的な実施項目	【Ⅱ】その他の具体的な内容	【Ⅲ】金額(千円)	【Ⅳ】実施内容の概略仕様	【Ⅴ】数　量
1	(株)●●建設工業	A	※その他:【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。		垂れ幕	200	仮囲壁	一式
2								
3								

例）二次下請側

8_現場環境改善費についての調査票【下請】

黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法:
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

区分	費目	金額(千円)
A	仮設備関係	200
B	営繕関係	0
C	安全関係	0
D	地域連携	0
Z	その他	0
合計		200

自社分	2次下請者名 1	2次下請者名 2	2次下請者名 3	2次下請者名 4	2次下請者名 5	2次下請者名 6	2次下請者名 7
(株)●●建設工業	●●建設(株)						
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
200	0	0	0	0	0	0	0

※元請者は、下表の入力部分すべてを「元請」ファイルの「18_現場環境改善費_下請」シートに転記してください。

「一次下請会社名」、「区分」をプルダウンリストより選択後、「【Ⅰ】実施内容／【Ⅲ】金額(千円)／【Ⅳ】実施内容の概略仕様／【Ⅴ】数　量」を入力して下さい。
※【Ⅰ】実施内容で、「その他」を選択した場合は、【Ⅱ】その他の具体的な内容」を入力して下さい。

No.	会社名	区分	【Ⅰ】実施内容	「③避暑(熱中症予防)対策」の具体的な実施項目	【Ⅱ】その他の具体的な内容	【Ⅲ】金額(千円)	【Ⅳ】実施内容の概略仕様	【Ⅴ】数　量
1	(株)●●建設工業	A	※その他:【Ⅱ】にその他の具体的な内容を記載して下さい。		垂れ幕	200	仮囲壁	一式
2								
3								

赤枠内を欄へ転記してください。
注）赤枠内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください

「15_ICT」シート

ICT活用工事に係る設計金額等について入力します。

注）ICT活用に関し、設計計上していない工事は入力不要です。

・ 入力項目（15_ICTシート）

項　目	内　容
Ⅰ	『7_技術管理費』シートの「F　ICT建設機械」に入力された金額に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
Ⅱ	①　3次元起工測量（共通仮設費積上げ対象） 『7_技術管理費』シートの「F　ICT建設機械」に計上したもの 注）使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 ②　3次元設計データ作成（共通仮設費積上げ対象） 『7_技術管理費』シートの「F　ICT建設機械」に計上したもの ③　ICT建設機械による施工 工種、使用機械を選択（「その他」の場合は入力）し、施工数量と単位(m3・m2・個 等)を入力してください。 注）工種毎、使用機械毎に記入してください。 注）費用は『★工事費』シート①直接工事費(3)機械機具等損料に計上してください。 ④　3次元出来形管理資料作成（共通仮設費積上げ対象） 『7_技術管理費』シートの「F　ICT建設機械」に計上したもの ⑤　3次元出来形管理資料作成（共通仮設費率分対象） 『7_技術管理費』シートの「A　品質管理等」に計上したもの 注）使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 ⑥　保守点検費（共通仮設費積上げ対象） 『7_技術管理費』シートの「A　品質管理等」に計上したもの 注）工種も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注）工種毎に記入してください。 ⑦　システム初期費（共通仮設費積上げ対象） 『7_技術管理費』シートの「F　ICT建設機械」に計上したもの 注）使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注）使用機械毎に記入してください。 注）計上した費目を入力してください。 注）『外注分』欄は、各下請者から回収した調査票（下請者用）の『ICT』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
Ⅲ	上記Ⅱの①②④⑥⑦で入力した費用の合計金額と、Ⅰにて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。

「★工事費」シート

自社及び再下請者における**工事費（最終実績金額）内訳について入力します。**
注1）入力にあたっては、自社及び再下請者を入力する必要があります。
注2）再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『★工事費』シートの内容（入力例の赤枠内）を転記してください。
再下請者への『外注費』の内訳を入力することとなります。
同時に、再下請者における各費目が、適正に記入されていることを確認してください。
注3）自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『 0 』を入力してください。
注4）入力欄について
①『自社分』欄は、自社について入力します。
（入力した値の合計が自動的に算出される項目、または他の入力シートで入力した値が表示される項目があります。）
②『再下請』欄は、再下請者各社について入力します。
（入力した値の合計が自動的に算出される項目があります。）
③『総合計』欄は、『自社分』欄及び『再下請』欄の合計が表示されます。

項　目		内　容
自社分欄		
	請負金額（税抜き）	**元請者、または上位の下請者からの『請負金額（税抜き）』**を入力してください。
	請負金額の内、外注費	**再下請者がある場合は、再下請者への『外注費（税抜き）』**の合計額を入力してください。 **注）再下請者への外注費（下請者の工事価格）合計の実績額と一致しているか確認**してください。
	工事価格	『請負金額（税抜き）』から『請負金額の内、外注費』で入力した金額の差額が自動算出されます。 注）自社分の工事価格の実績額と一致しているか確認してください。
	下請次数	『1_一般事項』シートで入力した下請次数が表示されます。
	工種	施工体制台帳上の工事内容を入力してください。
再下請欄（**再下請者がある場合です。**）		
	下請社名	『1-2_下請入力』シートで入力した会社名が表示されます。
	工事価格	**再下請者への『外注費（税抜き）』**を入力してください。 **注）再下請者からみた『請負金額（税抜き）』です。**

・再下請の転記方法（★工事費）

再下請の情報を転記する場合は以下のように転記してください。
例）一次下請側

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

会社名：
(株)●●建設工業
請負金額（税抜き）
100,000
請負金額の内、外注費
4,000
工事価格
96,000
千円

会社名：
●●建設(株)
工事価格
4,000
千円

会社名：
工事価格
千円

金額は千円単位で入力します
注）消費税抜きで記入してください

費目 ＼ 下請社名 / 工種	総合計 1次下請+2次下請	1次下請負業者 自社分 土工	2次下請合計	2次下請負業者 1 ●●建設(株) 土工	2
① 直接工事費	220	11	209	209	0
(1) 材料費	2	1	1	1	
(2) 労務費等	204	3	201	201	0
イ 労務費	2	1	1	1	
ロ 交通誘導警備員A	101	1	100	100	
ハ 交通誘導警備員B	101	1	100	100	
(3) 機械機具等損料	2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	2	1	1	1	
(5) 直接経費	4	2	2	2	0
イ 特許使用料	2	1	1	1	
ロ 光熱電力使用料	2	1	1	1	
(6) 特殊経費（処分費等）	6	3	3	3	0
イ 処分費（再資源化施設の受入費を含む）	2	1	1	1	
ロ 上・下水道料金	2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料	2	1	1	1	

例）二次下請側

★工事費の内訳

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「★工事費」シートに転記してください。

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分：黄色セルの入力に伴う自動計算（入力不可）
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法：
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所（黄色塗りつぶし部分）に入力して下さい。

会社名：
(株)●●建設工業
100,000
4,000
工事価格
96,000
千円

会社名：
●●建設(株)
工事価格
4,000
千円

会社名：
工事価格
千円

金額は千円単位で入力します
注）消費税抜きで記入してください

赤枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。
注）総合計欄を転記してください。

費目 ＼ 下請社名 / 工種	総合計 1次下請+2次下請	1次下請負業者 自社分 土工	2次下請合計	2次下請負業者 1 ●●建設(株) 土工	2
	220	11	209	209	0
	2	1	1	1	
	204	3	201	201	0
	2	1	1	1	
	101	1	100	100	
	101	1	100	100	
(3) 機械機具等損料	2	1	1	1	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	2	1	1	1	
(5) 直接経費	4	2	2	2	0
イ 特許使用料	2	1	1	1	
ロ 光熱電力使用料	2	1	1	1	
(6) 特殊経費（処分費等）	6	3	3	3	0
イ 処分費（再資源化施設の受入費を含む）	2	1	1	1	
ロ 上・下水道料金	2	1	1	1	
ハ 有料道路利用料	2	1	1	1	

・入力項目（★工事費シート）

①直接工事費

項　目	内　容
①直接工事費	『直接工事費』とは、工事目的物を造るために直接必要とされる費用で、「材料費、労務費、機械器具等損料、貸与機械等の現場修理費・管理費、直接経費、特殊経費」で構成されます。 次の「(1)～(6)」の合計額が自動算出されます。
(1)材料費	直接工事の施工に必要な材料の費用（特殊製品、燃料、油脂、火薬、ビット、消耗部品、雑材料、雑品、雑油脂等を含む）とし、その工事で全額消費された材料費の合計額を入力してください。 なお、各材料の購入手数料、引取運賃、荷役費、保険料等を含むものとします。 **注1）『鋼橋等工場製作費』及び『電気通信設備工事における機器単体費』には**、本項目に計上する場合と、「⑥鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は機器単体費）」の項目に計上する場合の2種類があるので、**発注者側の積算計上項目と同じ項目への計上が必要となります。** **注2）『鋼橋等工場製作物』及び『電気通信設備工事における機器』の運搬に要した費用は、本項目に計上してください。**
(2)労務費等	次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。
イ　労務費	直接工事（工事目的物の施工、仮設工事）の施工に従事した『労働者等の賃金（基本給、または請負給、割増賃金、基準内・外手当）、賞与（当該工事に相応する賞与額で臨時的手当を含む）及び実物給与等』の合計額を入力してください。 注1）入力に際しては、『10 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』を参照し、労働者の従事内容に注意して費用を計上してください。 **注2）直接工事の施工に従事した労働者以外の費用は計上しないでください。** **例1）測量、準備工に要した労務費** **→『準備費』に計上**してください。 **例2）動態観測等に要した労務費** **→『技術管理費』に計上**してください。 **注3）**雇用上（元請・下請）の**正社員の場合でも、直接工事に従事した者（普通作業員、重機オペレーター等）の労務費は、本項目に計上**してください。 **注4）**直接工事の施工と現場管理を**兼務する者の場合は、その作業割合に応じて「労務費」と「社員等従業員給料手当」に分けて、それぞれの費用を各項目に計上**してください
ロ　交通誘導警備員A	交通誘導警備員A（一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員）に要した費用（賃金）を入力してください。
ハ　交通誘導警備員B	交通誘導警備員B（交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事する者）に要した費用を入力してください。

	(3)機械器具等損料	直接工事の施工に要した機械器具等(車両、雑機械、小器材等)損料額(修理費、管理費を含む)の合計額を入力してください。 また、直接工事の施工に要した仮設材(鋼製・木製仮設材)のような繰返し転用される材料においても、当該工事に使用された期間の損料額を入力してください。 注1)使用した機械器具損料を計上してください。 注2)機械器具等のリース業者へ支払う費用(賃料)は、本項目に計上してください。 なお、燃料及び労務費込みのリース料金の場合は、材料費と労務費を分けて入力する必要はありません。 注3)『元請者の機械を下請者に無償貸与した場合』及び『元請者がリース料を支払って、機械器具等を下請者が使用した場合』は、元請者の機械器具等損料として計上してください。
	(4)貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	発注者が元請者に貸与した機械器具等の現場における修理費及び管理費の合計額を入力してください。
	(5)直接経費	次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。
	イ 特許使用料	直接工事の施工に要した特許の使用料(派遣技術者等の費用を含む)の合計額を入力してください。 **注)材料費及び機械器具等損料に含まれている場合は計上しないでください。**
	ロ 光熱電力使用料	直接工事に消費した光熱電力の**使用料**の合計額を入力してください。 **注)基本料金は**『②間接工事費(1)共通仮設費 **ホ 役務費 B 電力用水等基本料**』**に計上**してください。
	(6)処分費等	次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。
	イ 処分費(再資源化施設の受入費を含む)	直接工事の施工に要した産業廃棄物等の処理費(産業廃棄物税を含む)の合計額を入力してください。 **注)処分場への運搬費は**『①直接工事費**(3)機械器具等損料**』**に計上してください。**
	ロ 上・下水道料金	直接工事の施工に要した上・下水道の**使用料**の合計額を入力してください。 **注)基本料金は**『②間接工事費(1)共通仮設費 **ホ 役務費 B 電力用水等基本料**』**に計上してください。**
	ハ 有料道路利用料	直接工事の施工に要した有料道路利用料の合計額を入力してください。

②間接工事費(1)共通仮設費
(イ 運搬費・ロ 準備費・ハ 事業損失防止施設費・ニ 安全費)

項　目	内　容
②間接工事費	『間接工事費』とは、工事目的物の出来高には直接関係ないが、各工種の施工に対して共通して使用されるものに要した費用で、「(1)共通仮設費」及び「(3)現場管理費」で構成されます。 (本調査票では、「(2)補償費」及び「(4)機器間接費(電気通信設備工事の場合)」を含めます。) 『(1)共通仮設費』、『(2)補償費』、『(3)現場管理費』及び『(4)機器間接費(電気通信設備工事の場合)』の合計額が自動算出されます。
(1)共通仮設費	次の「イ～ル」の合計額が自動算出されます。 共通仮設費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。 注1)各項目の算定にあたり、繰返し転用される仮設材及び機械器具については、**当該工事で使用された期間の損料額を計上**してください。 注2)雇用上(元請・下請)の正社員の場合でも、共通仮設工事に従事した者(普通作業員、重機オペレーター等)の賃金は、共通仮設費の個々の項目(運搬費、準備費等)に含めて計上してください。
イ　運搬費	次の「A～C」の合計額が自動算出されます。 運搬費の各項目の入力は、『5-1_機器材運搬費』シート及び『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートに入力してください。
A　機器材	『5-1_機器材運搬費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注)入力の詳細は、『5-1_機器材運搬費』シートを参照してください。
B　建設機械Ⅰ	『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注)入力の詳細は、『5-2_建設機械Ⅰ・Ⅱ』シートを参照してください。
C　建設機械Ⅱ	同上
ロ　準備費	次の「A及びB」の合計額が自動算出されます。 準備・測量等の各項目の入力は、『6_準備・測量』シートに入力してください。
A 準備・測量等	自社分・再下請け欄について『6_準備・測量』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注)入力の詳細は、『6_準備・測量』シートを参照してください。
B　その他	同上
ハ　事業損失防止施設費	次にあげる費用について入力してください。 1.工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を、未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要した費用 2.事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要した費用

二 安全費		次の「A～T」の合計額が自動算出されます。
A 安全管理費		次の「1）～16）」の合計額が自動算出されます。
	1）	工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用を入力してください。
	2）	不稼動日の保安要員等の費用を入力してください。
	3）	標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明、仮設信号機等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用（労務費等）及び使用期間中の損料を入力してください。
	4）	夜間作業を行う場合における照明に要する費用（大規模な照明施設を必要とする広範なダム工事及びトンネル本体工事を除く）を入力してください。
	5）	酸素欠乏症の予防に要した費用を入力してください。
	6）	河川、海岸工事における救命艇に要した費用を入力してください。
	7）	粉塵飛散防止対策に要する費用（「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」に基づく粉塵濃度等の測定費用も含む。但し、トンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、直接工事費に計上する。）を入力してください。
	8）	長大トンネル等における防火安全対策に要した費用（工事用連絡設備費含む）を入力してください。
	9）	安全用品等の費用（安全帯を除く）を入力してください。
	10）	安全用品等の費用（フルハーネス型を除く安全帯のみの費用）を入力してください。
	12）	安全委員会等に要した費用を入力してください。
	15）	「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要した費用を入力してください。
	16）	道路使用許可申請等費用（手数料等）に要した費用を入力してください。
C 鉄道空港安全管理		鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入り口等に配置する安全管理要員等に要した費用を入力してください。
D 高圧作業予防		高圧作業の予防に要した費用を入力してください。
E 航路安全		河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要した費用を入力してください。
F ダム発破・監視費		ダム工事における岩盤掘削時に必要な発破・監視に要した費用を入力してください。
G トンネル工事における呼吸用保護具		トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要した費用を入力してください。
H 塗料かき落とし作業における呼吸用保護具		鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要した費用を入力してください。
I 切羽変位計測		「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における切羽変位計測に要した費用（トンネル（NATM）の計測Aに要した費用については除く）を入力してください。
J 墜落制止用器具（フルハーネス）費用		墜落制止用器具（フルハーネス）に要した費用を入力してください。
T その他		上記「A～J」以外で、現場条件等により安全に関して要した費用を入力してください。 注）「技術提案の実施のために要した費用」は、「④技術提案の実施のために増額した費用」に計上してください。 注）費用を計上した具体的な内容を入力してください。

②間接工事費（1）共通仮設費

（ホ 役務費・ヘ 技術管理費・ト 営繕費・チ 現場環境改善費・リ 回航・えい航費・ヌ新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用・ル その他）

項　目		内　容
ホ　役務費		次の「A～C」の合計額が自動算出されます。
A　土地の借上費		工事を行うにあたり、必要となる土地の借上げ等に要した費用を入力してください。 例）工事用道路、オープン掘削等で工事用地を借上げた場合等 **注）現場事務所、宿舎等の設置に要する土地の借上げに要した費用**は、『②間接工事費（1）共通仮設費 **ト 営繕費 B 借上費**』**に計上**してください。
B　電力用水等基本料		工事を行うにあたり、必要となる電力、用水等の基本料に要した費用を入力してください。 **注）現場事務所、宿舎等で使用する電力用水基本料は**、『②間接工事費**（3）現場管理費 カ 動力・用水光熱費**』**に計上**してください。
C　電力設備用工事負担金		臨時電力及び電力設備用工事負担金を入力してください。 臨時電力（1年未満の契約の契約期間の場合に適用）の臨時工事費および高圧電力甲等（1年以上の契約期間で1年間までは負荷を増減しない場合に適用）の工事費負担金に要する費用を入力してください。
ヘ　技術管理費		次の「A～Z」の合計額が自動算出されます。
A　品質管理費等		自社分・再下請欄については、『7_技術管理費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注）入力の詳細は、『7_技術管理費』シートを参照してください。
B　特殊な品質管理		同上
C　現場条件等費用		同上
D　各種調査等		同上
E　各種台帳等		同上
F　ICT建設機械		同上
Z　その他		同上
ト　営繕費		次の「A～J」の合計額が自動算出されます。
A　建物費		次の「1）及び2）」の合計額が自動算出されます。
	1）	労働者宿舎の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。
	2）	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。 監督員詰所の費用は、『E　監督員詰所・火薬庫等の営繕』に計上してください。

B 借上費		次の「1）及び2）」の合計額が自動算出されます。 注）本項目に計上した費用のうち、『地代に要した費用』を『⑫営繕費のうち、地代に要した費用』の項目にも入力してください。
	1）	労務者宿舎や駐車場の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、アパート、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。
	2）	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所、駐車場等の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。
C 宿泊費		労働者が、旅館、ホテル等に宿泊した場合に要した費用を入力してください。
D 労働者の輸送に要する費用		労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要した費用（運転手賃金、車両損料、燃料費等含む）を入力してください。 **注）労働者へ交通費を支給した場合の費用**は、『②間接工事費（3）**現場管理費 イ 労務管理費**』**に計上**してくだい。
E 監督員詰所・火薬庫等の営繕		監督員詰所、火薬庫類の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要した費用及び敷地の借上げに要した地代を入力してください。 また、火薬庫、火工品庫の火薬類盗難防止の万全を期すための保安費（夜間巡回等の見張員）に要した費用を入力してください。 **注）**本項目に計上した費用のうち、**『地代に要した費用』を**「★工事費」シートの**『⑫**営繕費のうち、地代に要した費用**』の項目にも入力**してください。
F 通常トイレ費用		通常トイレに要した費用を入力してください。
G2 快適トイレ費用		快適トイレに要した費用を入力してください。
J その他		上記「A～G2」以外で、工事施工上必要な営繕に要した費用を入力してください。 注）費用を計上した具体的な内容を、本項目欄に入力してください。
チ 現場環境改善費		次の「A～Z」の合計額が自動算出されます。
A 仮設備関係		自社分・再下請欄について『8_現場環境改善費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注）入力の詳細は、『8_現場環境改善費』シートを参照してください。
B 営繕関係		同上
C 安全関係		同上
D 地域連携		同上
E2 熱中症対策費用（現場の施設や設備に対する費用）		同上
E3 防寒対策費用		同上
Z その他		同上

	ヌ　新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	共通仮設費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。 現場管理費に含まれるものは(3)現場管理費 ソ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用に入力してください。 (参考) 共通仮設費に含まれるもの例：密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費。現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料。 現場管理費に含まれるもの例：マスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用。消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用。遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費。
	ル　その他	共通仮設費に含まれるものであって、上記「イ～ヌ」以外で要した費用を入力してください。 注)「技術提案の実施のために要した費用」は、「④技術提案の実施のために増額した費用」に計上してください。 注)費用を計上した具体的な内容を、本項目欄内に入力してください。

②間接工事費(2)補償費・(3)現場管理費・(4)機器間接費

項　目	内　容
(2)補償費	工事の施工に伴う下記の物件等の補償費で、**発注者が積算計上した補償費について実際に要した費用を計上してください。** 例)家屋の損壊補償、沈下補償、濁水補償、井戸の枯渇補償、等 **注)積算計上されていない場合は、『②間接工事費(3)現場管理費 リ 補償費』に計上してください。** **入力にあたっては、『積算計上の有無』を発注者に確認してください。** 原則として補償に要した費用を計上しますが、物件補償の場合でも、その評価額を入力してください。
(3)現場管理費	次の「イ～ナ」の合計額が自動算出されます。
イ　労務管理費	『4_労務管理費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注)入力の詳細は、『4_労務管理費』シートを参照してください。
a.募集・解散費	同　上
b.慰安・娯楽・厚生費	同　上
c.作業被服費	同　上
d.賃金以外の食事、通勤等に要する費用	同　上
e.災害時負担費用	同　上
ロ　安全訓練等費用	次の「A～C」の合計額が自動算出されます。
A　安全・衛生に要した費用	安全・衛生に要した費用を入力してください。 例)安全訓練費、安全大会、作業手順会等
B　研修訓練等に要した費用	研修訓練等に要した費用を入力してください。 例)工事内容等の周知徹底、工事における災害対策訓練費等
C　外国人労働者の技能実習に要した費用	研修訓練等に要した費用のうち、外国人労働者の技能実習に要した費用を入力してください。 例)外国人労働者の技能実習、現場マニュアルの多言語化等に要する費用　等
ハ　租税公課	印紙類代、自動車税及び固定資産税に要した費用を入力してください。 **注)『①直接工事費(3)機械器具等損料**(ダンプトラック、建設機械等)』に計上された**自動車税及び固定資産税は計上しない**でください。
ニ　社員等従業員給料手当	『2-1_社員等従業員給料等_自社分』及び『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 入力の詳細は、『2-1_社員等従業員給料等_自社分』及び『2-2_社員等従業員給料等_再下請分』シートを参照してください。
ホ　退職金	社員等従業員に対する退職金、退職給与引当金繰入額及び中小企業退職金共済法掛金事業主負担額を入力してください。

へ　保険料	次の「A～F」の合計額が自動算出されます。 **注1)『①直接工事費(3)機械器具等損料』に計上された保険料は計上しないで**ください。 注2)還付金がある場合は、差し引いてください。 注3)法定外労災上乗せ分については、『E その他労災保険(法定外を含む)』に計上してください。 参考 例:法定保険料を年払いで処理している場合 入力する法定保険料＝年間支払い金額×(当該現場請負金額÷年間売上高金額)
A　火災保険	調査対象工事に要した火災保険料を入力してください。
B　工事保険	調査対象工事に要した工事保険料を入力してください。
C　自動車保険	調査対象工事に要した自動車保険料を入力してください。
D　組立保険	調査対象工事に要した組立保険料を入力してください。
E　その他労災保険(法定外を含む)	調査対象工事に要したその他労災保険(法定外を含む)を入力してください。
上記の内 保険料	上記の内、災害時に対応した保険料を入力してください。
F　その他損害保険	調査対象工事に要した、上記保険及び　チ福利厚生費以外のその他の損害保険料を入力してください。
上記の内 保険料	上記の内、災害時に対応した保険料を入力してください。
ト　法定福利費	次の「A～F」の合計額が自動算出されます。
A　労災保険料	『3_法定福利費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。 注)入力の詳細は、『3_法定福利費』シートを参照してください。
B　雇用保険料	同　上
C　健康保険料(介護保険料を含む)	同　上
D　厚生年金保険料(子ども・子育て拠出金を含む)	同　上
F　船員保険料(介護保険料を含む)	同　上
チ　福利厚生費	社員等従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、文化活動、慶弔見舞等に要した費用、厚生年金上乗せ給付分(厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等)、及び社員等従業員の団体傷害保険料(還付金等は除く)のうち、事業主負担額を入力してください。
リ　補償費	工事の施工に伴って通常発生した物件等の毀損の補修及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費で、緊急的な応急措置及び簡易復旧にかかる費用を入力してください。 **注)巨額な補償が生じる等、発注者と協議し積算対象となったものについては『②間接工事費(2)補償費』に計上**してください。
ヌ　通信交通費	社員等従業員が本支店等に出張した旅費、発注者等への連絡交通費、及び電話、郵便等の通信費に要した費用を入力してください。
ル　交際費	得意先、来客の応待費、慶弔見舞等に要した費用を入力してください。
ヲ　事務用品費	事務用消耗品類の購入費及び新聞、参考図書、雑誌等の購入費を入力してください。
ワ　動力・用水光熱費	現場事務所、宿舎、倉庫等で使用された電力、水道、ガス等の費用(基本料金を含む)を入力してください。
ヨ　公共事業労務費調査	公共事業労務費調査に要した費用を入力してください。

タ　天候デリバティブ費用	天候デリバティブ※に要した費用を入力してください。 ※契約時に所定の契約料を支払うことで、観測期間中に測定された対象指標（降雪量等）が、約定した条件に合致した場合に一定の金額（決済金）を支払う金融派生商品
レ　建設キャリアアップシステム（CCUS）に要した費用	建設キャリアアップシステム（CCUS）に要した費用を入力してください。
ツ　新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	現場管理費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。 共通仮設費に含まれるものは(1)共通仮設費 ヌ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用に入力してください。 （参考） 共通仮設費に含まれるもの例：密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費。現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料。 現場管理費に含まれるもの例：マスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用。消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用。遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費。
ネ　熱中症対策費用（作業員個人に対する費用） 【現場環境改善費より転記】	元請欄については、『11_現場環境改善費_元請』シート『E1：①熱中症対策費用（作業員個人に対する費用）』の金額が自動計上されます。 下請欄については、『24_現場環境改善費_下請』シート『E1：①熱中症対策費用（作業員個人に対する費用）』の金額が自動計上されます。
ナ　その他	現場管理費に含まれるものであって、上記「イ～ツ」以外で要した費用を入力してください。 注1）費用を計上した具体的な内容を、本項目欄に入力してください。 例）雑貨費、社内打合せ等の費用、諸団体会費等
ラ　外注経費（外注一般管理費等）	『工事価格（税抜き工事請負金額）』から『工事実績額』を差し引いた金額が自動算出されます。 注）本調査票における『外注経費（外注一般管理費等）』は、下請者（自社）及び再下請者（外注）の『一般管理費等』をいいます。 自社分欄に下請者（自社）の『一般管理費等』が自動算出されます。また、再下請欄に再下請者（外注）の『一般管理費等』が自動算出されます。 本調査票における『外注経費（外注一般管理費等）』は、下記算出式より求まります。 『外注経費（外注一般管理費等）』 ＝『⑧工事価格』－（『①直接工事費』＋『②（1）共通仮設費』＋『②（2）補償費』＋『②（3）現場管理費 イ～タ の各項目の合計』＋『②（4）機器間接費』＋『⑥鋼橋等工場製作費』＋『⑦別途調査等工事価格』） 注）『工事実績額』が『工事価格（税抜き工事請負金額）』より上回る場合は、マイナスの金額となります。 **入力した各項目の金額に間違いないかを確認するための金額です。**

(4)機器間接費	次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。 注)電気通信設備工事において、機器間接費が発生した場合のみ入力してください。
イ　技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	技術者間接費の費用を入力してください。 技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等にかかわる経費で以下の費用を含みます。 1.従業員給与手当(当該製作工場等の間接部門の従業員(以下、「間接部門従業員」という。)の給料、諸手当及び賞与) 2.退職金(間接部門従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰込額) 3.法定福利費(間接部門従業員に係る労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額) 4.福利厚生費(間接部門従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用) 5.補助材料及び工場消耗品費 6.事務用品費 7.通信交通費 8.雑費(1から7までに属さない諸費用)
ロ　機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	機器管理費の費用について入力してください。 機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費で以下の費用を含みます。 1.機器の施工現場における管理にかかわる費用(機器の施工現場内での保管における必要な安全施設、安全管理及び運搬等に要する費用) 2.技術管理に要する費用(機器の品質管理のための施工現場における試験・検査及び試運転等に要する費用) 3.保険料(機器の施工現場内における火災保険、損害保険等の保険料) 4.機器の調達に要する費用(機器の調達、製作の調整等に要する費用) 5.訓練等に要する費用(機器の操作運用に関して発注者等への教育訓練に要する費用) 6.機器製作期間中の現場経費(機器製作期間がある場合に期間中の施工現場の安全管理等に要する費用 7.事務用品費 8.通信交通費 9.雑費(1から8に属さない諸経費)

③外注費　～　⑬下請労働者延人員と作業日数

項　目	内　容
③外注費	入力不要の項目です。
工事原価	次の式で自動計算されます。 『工事原価』 ＝『①直接工事費』＋『②（1)共通仮設費』＋『②（2)補償費』＋『②(3)現場管理費 イ～ネ の各項目の合計』＋『②（4)機器間接費』＋『⑥鋼橋等 工場製作費』＋『⑦別途調査等 工事価格』
④技術提案の実施のために増額した費用	技術提案の実施のために要した費用が発生した場合は記入してください。
⑥鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）	鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）の費用を入力してください。 『鋼橋等工場製作費』とは、鋼桁、門扉、ポンプ等の当該工場製作にかかる費用（直接工事費、間接労務費及び工場管理費）です。 『機器単体費』とは、製造工場で作られ、その製品が製造工場で、性能・機能等の確認（品質証明が得られる）がなされ、据付現場において内部の加工等を必要としない機器の費用（直接製作費、二次労務費、工場管理費及び一般管理費等）です。 **注1）発注者にて工場製作費として積算計上されているものを計上し、入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。** 注2）工場製作品であっても、発注者にて工場製作費として積算計上していない場合は、『①直接工事費（1）材料費』に計上してください。 **注3）**工場製作物及び機器の製作工場所在地から工事現場までの**輸送費は、『①直接工事費（1）材料費』に計上**してください。
⑦別途調査等工事価格	**当該工事の中に「調査・設計業務等」が含まれている場合は、費用を入力してください。** 例）建築工事、測量業務、地質調査、構造物詳細設計、爆弾探査工事等 注1）土木積算基準以外で積算計上されているものが本項目に該当します。 土木工事とは別の費用を『一括計上』、『建築工事一式』等として本項目に積算計上されている場合も、本項目に該当します。 注2）発注者側で積算計上されているものを計上してください。 入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。
⑧工事価格	自社分欄及び再下請欄とも、『★工事費』シート入力項目の『工事価格』が表示されます。 **注）自社分欄及び再下請欄とも、工事価格の実績額と一致しているか確認してください。** 修正が必要な場合は、『★工事費』シート入力項目を修正してください。
⑪廃材処理等において、処分費以外に要した費用	廃材の処理等において、処分費以外に要した費用を入力して下さい。 例1）マニフェストの購入代金及び記入、整備に要した人件費等 例2）産業廃棄物収集・運搬・処分の契約時に要した印紙代等 例3）追跡調査及び立会等に要した人件費、交通費等
⑫営繕費のうち、地代に要した費用	『②間接工事費（1）共通仮設費 ト 営繕費 B 借上費　及び E監督員詰所等』で入力した金額のうち、『地代に要した費用』を入力してください。
⑬準備費のうち、伐開・除根・除草等に要した費用	『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費』で入力した金額のうち、『伐開、除根、除草等に要した費用』を入力してください。
⑭〇次下請負者の数	下位の下請者数が表示されます。

⑮〇次下請負者の外注経費（外注一般管理費等）の合計	下位下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額が表示されます。
⑯〇次下請負者への発注工事価格の合計	下位下請者への『工事価格（外注費）』の合計額が表示されます。
⑰延人数と作業日数	調査対象工事に従事した者の延人員数及び従事した作業日数を入力してください。 **注）下記（1）、（3）、（4）、（6）、（7）の人数は、当該工事に従事した全体の『延人員数』となるので、脱落のないように入力してください。**
（1）労働者延人数	直接、肉体的労働を伴って工事施工に従事した労働者（世話役、普通作業員、鳶工、大工、重機オペレーター等）の延人員を入力してください。 注）『10 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『労働者』が該当します。 注）1人の1日の作業日数の考え方は、賃金の考え方によります。 例） 半日作業をした。その日は他の作業は無かった。 1日分の賃金を渡した→『1人／1日』 残業を4時間した。 1.5日の賃金を渡した。→『1.5人／1日』 半日作業をした。その日に対象工事以外の現場に行き作業をした。 1日÷2か所 →『0.5人／1日』
（2）（1）のうち通勤労働者延人数	『（1）労働者延人数』のうち、自宅等から通勤した労働者の延人数を入力してください。
（3）交通誘導警備員A延人数	①直接工事費（2）労務費等ロ交通誘導警備員Aで費用を計上した場合、『交通誘導警備員A』の延人員を入力してください。
（4）交通誘導警備員B延人数	①直接工事費（2）労務費等ハ交通誘導警備員Bで費用を計上した場合、『交通誘導警備員B』の延人員を入力してください。
（6）準備・測量等従事者延人数	測量、地質調査、試験等の技能業務（測量技師、試験員等）に従事した延人員を入力してください。 注１）『10入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『技能関係等従事者』が該当します。 注２）測量、地質調査、試験等を現場管理的業務の技術者（現場代理人等）が実施した場合は、『（7）技術・事務関係社員等従業員延人員』に計上してください。
（7）社員等従業員延人数	所長及び現場管理を行っている技術者、もしくは夜警員、倉庫番、食事係、連絡車の運転手等の特定業務・臨時業務に従事した延人員を入力してください。 注）『10 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『社員等従業員』が該当します。
（8）作業日数	自社及び再下請者について、調査対象工事に従事した作業日数を入力してください。
（9）延べ人数合計	上記(1),(3),(4),(7)の『合計延べ人数』が自動計算されます。
（10）従事者延べ人数	『3_法定福利費』シートの法定福利費内訳書で入力した『従事者延べ人数』が表示されます。 注）(9)と(10)は一致するように人員数を入力して下さい。